

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

# 宮若 生活

Public Relation Magazine Miyawaka city

つなげ、  
*Never Ending Story*  
この汗を。挑戦を。思いを。

*Special edition*

高校球児 秋貞姉妹

*Cover interview*

「青臭くてもいいんです」

中村尚儔【漫画家】

きらびと

「東京で得た自信をもって」

安田一平【グリーンハート安田花卉】



12

2011  
NO.071

Special edition

- Challenge 1 4 超えられない壁からの挑戦
- Challenge 2 9 女子硬式野球の聖地でみた、高校球児の苦悩と決意
- Challenge 3 12 都市基盤整備が運ぶ、新しい息吹
- Challenge 4 15 スポーツから人づくり、そしてまちづくりへ

高校球児

秋貞姉妹

毎年、幾多のドラマが  
繰り広げられる  
阪神甲子園球場。

この地に立つことを夢見て

汗を流す<sup>※1</sup>四千九十校の高校球児。

秋貞江美さん、真弓さん姉妹も同じです。

ただただ野球が好きで

小学校、中学校と続けます。

そして県立直方高等学校に進学。

しかし、規則によりフィールドに立つことはできません。

でも、彼女たちにとって、

野球をしないことなど考えられませんでした。

二人のそのピュアな思いが

出会う人たちを変えていきます。

そして、同じ高校球児として、

聖地、甲子園を目指して今、一歩、二歩と踏み出しています。

特集、高校球児秋貞姉妹。

秋貞姉妹は声高には主張しません。

目指すべき場所を静かに見据えた

彼女たちの数々の挑戦に迫ります。



## 秋貞江美さん

直方高等学校2年生硬式野球部グラウンドマネージャー

ユニホームに袖を通し、ノックバットを手にした途端、江美さんはうって変わって真剣な表情に。1球1球力を込めてノックを打ちます。



## 秋貞真弓さん

直方高等学校1年生硬式野球部グラウンドマネージャー

ティーバッティングの補助をする真弓さん。この笑顔からも、野球ができる喜び、そして楽しんでいることが伝わってきます。

ホームベースの横に立つのは秋貞江美さん、二年生。ボールを受け取り、守備につく選手たちへノックを始めました。

直方高等学校のグラウンドでは部活動に取り組む生徒が汗を流しています。陸上部やサッカー部、体育館からはバレーボール部の声も聞こえてきます。

「まだ外野まで打てるほどの力はありませんし、ノックもまだまだうまくいきませんが...」。江美さんは謙遜してそう言いますが、選手の右や左に的確に打ち分けていくバットコントロールを持ち合わせています。

妹の真弓さんは、入部して半年、ティーバッティングの補助についています。ティーバッティングは打撃練習の基礎を固める重要な練習。ボールをトスする作業は簡単に見えますが、常に同じ所に放る必要があるため、正確さが求められます。

秋貞姉妹は直方高校野球部で「グラウンドマネージャー」として活動しています。

「グラウンドマネージャー」。

全国高校野球連盟の大会参加者資格規定により、試合には女子が出場することができません。しかし、直方高校では二人が野球経験者ということもあってこれまでになく新しく誕生したのです。

「高校での野球はあきらめていたので続けることができて、毎日が楽しいです」。江美さん晴れ晴れし

### 高校球児 秋貞姉妹 『野球が好きだから』

## Challenge 1 We love baseball.

# 超えられない壁からの挑戦

それはとても自然なことだった。

高校でも野球を続けたいという思い。続けるためにできることを模索していくなか、

一つの答えにたどり着きます。

「グラウンドマネージャー」という役割。

直方高校でも今までにない取り組みであり、秋貞姉妹にとっても新しいチャレンジです。



## Ground manager 【グラウンドマネージャー】

た笑顔で話してくれました。江美さんと真弓さんの姉妹が野球と出会うのは必然でした。父久志さんは少年野球の監督を務めていたからです。お兄さんが始めたのをきっかけに、江美さんも練習がある日曜日に顔を出すようになったとのこと。

「最初は父も私が女の子ということもあってか、積極的に野球を教えることはなかったと思います。私は父や兄が野球をしている横で、ボールを転がしてもらって遊んでいました。その時、ボールを相手に投げ返すと「上手、上手」って褒められたのです。それがうれしくて、もっと褒められたいという思いから始めることにしたんです。まだ幼稚園に行っていました。初めてのユニホームを手にして喜んだのを覚えています」。

久志さんは野球を通して、礼儀や全員でがんばることの大切さを伝えることに力を入れていました。「試合の勝ち負け以上に全員で取り組むその姿勢を学びました」と真弓さん。「兄と姉が野球を始めたことから、私も自然とボールを握っていました」。

小学校時代は毎週日曜日の野球で汗を流す秋貞姉妹。姉の江美さんは宮田光陵中学校に進学し、これまで続けてきた野球を続けたい思いを胸に、恐る恐る野球部の顧問に入部の相談をしたときのことを述懐します。

「中学校の先生は野球ができる環境をすぐに整えてくれました。今も野球を続けられるのも先生のおかげだと思っています。男子と同じように指導してくれることがうれしかった。男子に負けたくないという思いが強く、『女子だからこれはできないだろう』『女子が野球部に入つと』といった偏見を見返すためでもありました。その時、少し無理していたのかわかりませんが、ヘルニアを発症してしまったのです。発症する前からしびれなどがありましたが、重症化するとは思いませんでした。でも、そのけがを乗り越えて、レギュラーを獲得できたときの喜びは忘れられません。

技術面でもチームに貢献するために、選手たちから求められるノッカーになりたい。

秋 貞 江 美



Emi Akisada

Mayumi Akisada

秋 貞 真 弓

シートバッティングでは審判をしたりしています

家では

が、私も姉のようにノックができるようになりたいですね。家では普通のお姉ちゃんだけど、野球となれば話は別。負けたくないライバルです。

普通のお姉ちゃんだけど、野球となつたら話は別。負けたくないライバルです。

「軟式から硬式に変わり、ボールのスピードも格段に上がりました。力だけで言えば男子にはかないません。でも、自分たちからできること、男子に負けないものもあります」。江美さんはグラウンドマネージャーに課せられているもう一つの役割について語ります。

「監督やコーチの助言が選手に伝わっているか、また実践されているかを見ていく必要があるのです。時には先輩であっても言いづらいことを言わないといけません。最

interview

### 今では野球部に不可欠な存在に成長してくれました

田光陵中学校に女子の部員がいるのは以前から知っていました。どうしても男子が多い部活動ですから、女子がプレーしているのは珍しいですからね。姉の江美さんが高校に入学してきたとき、「ピン」ときました。せっかく、中学まで野球を続けてきたのだから、その力を発揮できる場がつかないかと考えて提案したのが、「グラウンドマネージャー」です。

彼女たちにはコーチングもお願いしています。我々と選手たちの中間にいる、他校にはない重要な役割を担っています。高校でプレーができないという葛藤は彼女たちにもあると思います。だからこそ、うちの選手達にとっても野球をやりたいくてもできないという秋貞姉妹がいることが、さらに真剣に取り組むことにもつながっているように感じます。

2人とも向上心が強く、野球部にとっても不可欠な存在に成長してくれました。



池端敏春さん  
直方高等学校野球部部长

ろうと決めていたんです」。江美さんは高校での野球をあきらめていたと話します。「高校では規則で女子が試合に出ることはできません。それは規則です。仕方ないことです。それでも自分は野球が好きで携わっていたいという思いがありました。だからマネージャーをやるうと考えていました」。高校入学後、マネージャーの申し込みに野球部の部長、池端敏春先生の所に行くことに尋ねられます。「秋貞、中学校では野球をやったんやろ？ ユニホームを着てグラウンドの中からサポートしてみらんか？」

池端先生の提案に江美さんは、あきらめかけていた野球への思いを再燃させます。

「好きな野球を続けられることと、どのような形であれユニホームを着ることができればいいと思っていただけに超えられない壁を破つたような感じでした」。

「直方高校野球部でも、ユニホームを着た女子は初めてのこと。でも、野球を続けたいという彼女の純粋な思いに何とか応えたかった」と、池端先生も話します。翌年、真弓さんも直方高校に入学。ユニホームを着た姿がそこにありました。

「まだ入部して半年ですけど野球を続けられるので楽しいです。今はティーバッティングの補助や

ある日、先生からファーストをやるように言われたのです。なぜ、セカンドができないのか悔しさから尋ねると、自分の足りない所を指摘されたのです。先生はそれを克服しないとセカンドには戻れないと言ったのです。それから、練習が終わると妹と守備の特訓を重ねました。意地になってポジションに返り咲いたときは、やればできるんだということを実感しました。

そして、セカンドの魅力は常に緊張感があることです。内野全体を見渡すこともでき、他のポジションの補助をすることもあります。状況に応じて次はどのように動けばいいのかあらかじめ考えることと、周囲への気配りをする視点など

### ユニホームを着れる喜びをかみしめて

「実は高校ではマネージャーをや

やるだけです。もしそこに行けたらどのような雰囲気があるのか。想像もつきません」。

真弓さんも「そこでプレーができなくても、目指すべきものに変わりはありませぬ」と続きます。

「実は挑戦したいものがあるんです」。そう告白するのは江美さん。

「先生から私に女子プロ野球のトライアウト(※1)に挑戦してみないかと、声を掛けられたのです。そんなことは今まで考えたこともありませんでした。自宅に帰って母にそのことを話したら『挑戦してみれば』って言うんです。母のその言葉に自分の中で挑戦への思いが強くなっていきました。自分がどれくらいできるのか、試したいと思

いが大きくなっていくのです。これからオフシーズンとなり練習も早く終わります。光陵中学校のグラウンドで自主練習に取り組んでみようかと考えています。その挑戦は無謀なものかもしれませんが、受けてみることで見えてくるものもあると思います。また、トライアウトへの練習がグラウンドマネージャーとしてマイナスになることもないと考えます」。

その姉の挑戦へのトレーニングには、もちろん真弓さんも一緒に取り組むとのこと。

甲子園に女子プロ野球のトライアウト。秋貞姉妹の二人三脚の挑戦は、まだ始まったばかりなのかもしれません。

### 秋貞姉妹が描くもうひとつの挑戦

「甲子園」。

そう口にして、少し間を置いて続ける江美さん。

「遠い存在に違いはありませんが、決して到達できない場所ではないと思います。今はチームとしてたどり着くためにできることを

interview

### 文武両道日本一を掲げ、新しい伝統を築いていきます



吉永俊嗣さん  
直方高等学校校長

高校は人生の場において「第2の誕生」ともいえるものです。

これからどのような人生を歩むのか、その大きな方向性はどのような高校生活を送るかに決まってくるからです。

直方高校は平成21年に100周年を迎え、新しく「文武両道日本一」というスローガンを掲げて取り組んでいます。勉強も部活動も盛んで、最近は女子バレーボールや男子バスケットボールの活躍は、皆さんもご存じのことと思います。全校生徒の約6割以上が部活動に取り組んでおり、本校の校訓の1番にある「礼節」を始め、部活動を通して多くのことを学んでいます。

社会に役立つ人材を育てることが求められる高校教育。勉強も部活動も全力で取り組むあなたに、私たち直方高校は応えていきます。

※1 チームに入団を希望する選手が、関係者の前で自己の能力をアピールし、契約を目指す場所のこと。

私

に二度と野球をやめなさいなんて言わないで。

あの時の江美の怒りようは普通ではありませんでした。確か、部屋が散らかっていたので、掃除をするように叱ったのです。「片付けもしないなら、野球なんかやめなさい」って。私自身、野球に関してブレイキをかけるつもりは毛頭なかったのですが、その言葉に江美が激しい口調で言い返してきたのです。

そのとき、この子の野球に対する気持ちの強さを再認識させられたのです。それは真弓も一緒ですね。二人は本当に純粹に野球が好きなんだと思います。家でも、主人と野球の話ばかりなんです。女の子が野球をやるといふことに何も疑問を感じたことはありません。我が家ではそれが当たり前なんです。

でも、ここまで続けられたのはいろいろな人の支えがあったことは、間違いありません。

小学校から中学校に進学するとき、宮田光陵中学校の野球部には男子しかいませんでした。周囲の人が野球を続けたい江美を思ってくれて、入学前に事前に学校に連絡してくれたそうです。そうしたら、入学時の部活動紹介のパンフレットには「部員、男女募集」の文字がありました。そのパンフレットの文字を指さしながら、野球が続けられることを娘と喜び合ったのを覚えています。

1番そばにいるから当然ですが、もっと応援したくなるんです

## 母からみた秋貞姉妹

message

母、秋貞千恵香さんの願いと願い

「引き出しには整理しきれないほど、2人が野球をやっている写真あるんです。ちゃんとアルバムに入れとかない」と、思っていたんですけど。当時のエピソードを交えながら懐かしむように話してくれた千恵香さん。



ホームを着ていられるのだと思います。今では選手から信頼され、求められていることを私に話す二人の表情は本当に生き生きしているんです。一度、グラウンドに立つことをあきらめた江美が直方高校のユニホームを握って帰ってきたときのことは今でも忘れられません。本当にうれしそうな姿を見たとき、二人は野球から離れられないと感じました。

先生から女子プロ野球のトライアウトの話があったときも、挑戦するように勧めました。合格が目的じゃなく、そこに挑戦することで新しい出会いや縁がきつとあるはずです。そこから学ぶことがたくさんあるでしょう。一番そばにいるから当然ですが、もっと応援したくなるんです。

高校に進学してからは二人とも忙しい日々を過ごしています。たまに時間が空いたりすると、宮田小学校のグラウンドに行くと、野球教室の子ども達とキャッチボールをしたり、大人と子どもで分かれて試合をして楽しんでいます。

将来、どんな大人になるかわかりませんが、野球を通して出会った人や経験したことを生かして、人の痛みや思いに寄り添える人になってほしいです。これからはもともと我が家の食卓では、父と娘たちの野球話が続くことを願っています。

「競技人口の差がそれを物語っているんです」。

硬式女子野球の現状を吐露するのは日本女子野球協会事務局長を務める胡桃広伸さん。

「私たちが今取り組んでいるのが、底辺人口の拡大です。ここに例を挙げますと今年、世界一の快挙を成し遂げた皆さんご存じのな

でしこジャパン。女子サッカーの競技人口は二万六千人ほどです。そして女子ソフトボール。まだ記憶に新しい北京オリンピックでは金メダルを獲得しましたが、その競技者は二万六千人。

そして、女子野球はといえますとなんと八百人たらずなんです。一万人以上いけば企業も一つの

マーケットとしてみてくれますが、八百人では参入してくる企業も限られてきます。

知名度が低い現状が競技人口にも表れていますが、国際大会の結果は他の競技にひけをとらない好成績を残しているんです。

平成16年から隔年で行われている国際野球連盟が主催する女子

## 女子硬式野球の聖地でみた、高校球児の苦悩と決意

紛れもなく女子高校生が硬球を投げ、打ち、走っています。

関東には女子だけの硬式野球部が存在し、白球を追う高校球児がいます。しかし、そこには多くの課題が山積しているとのこと。日本女子野球協会の胡桃広伸さんや女子野球日本代表候補、新井純子さんの証言から女子硬式野球の現状と課題を探ります。



関東女子硬式野球連盟主催の秋季リーグでの1コマ。蒲田女子高校が先制しますが、埼玉栄高校が逆転に成功し、3対1で勝利を収めました。



ワールドカップでは、第一回、二回と準優勝、そして日本で行われた三回大会で優勝。昨年、南米ベネズエラで行われた四回大会でも勝利し連覇を達成しました。来年のカナダ大会では三連覇がかかっているんです。

国内に目を移しても、二年前に健康食品会社の社長の取り組みから日本女子プロ野球機構が発足。独立リーグとして二チームが試合を行って行きます。私自身もこの仕事をやるまでは、女子野球の存在を知らない多くの皆さんと同じ一人でした。

出合いは日本代表を決めるトライアウトの会場。自分も高校まで野球をやっていたこともあり、『女子はソフトボール』という固定観念がありました。本当に、選手が集まるか疑っていましたが、ぞくぞくと集まってくるんです。この日は百五十人の女性が日本代表の座を獲得するためにやってきたのです。硬式野球をやる女性が目の前にいても、我が目を疑いましたね。話を聞けば、野球を続けることの難しさから、ソフトボールなどの他競技に転向を余儀なくされる選手が多くいること。硬式野球を続けるための受け皿が極端に少ないことを訴えます。

硬式野球への思いを持ち続けたまま、やむなく競技を断念する選手がたくさんいるという現実を知らされたのです。

高校球児 秋貞姉妹  
『野球を続ける』

## Challenge 2 Baseball is continued.

# 苦悩

衝撃でした。女性ということで、野球を続けられない人がたくさんいたのです。これがきっかけに普及活動の仕事を行うようになりました。

そして最近では、これまでにない変化を感じています。女子の硬式野球部を創部する高校が地方に増えてきているのです。その一つ、新潟県にある開志学園高校も来年の4月から女子の部員を募集します。

北陸初の女子硬式野球部の誕生です。この誕生の裏には、熱心に働きかけた母親の存在がありました。特に女

浦田女子高等学校女子硬式野球部  
福岡から東京まで出てきてやりたかったもの。それが野球です。今、ここでプレーができる喜びを感じています。

福山美紗樹

Misaki Fukuyama



子野球の場合、母親の存在が大きいに感じます。別のある母親は、福岡県から野球をさせるために東京都にある浦田女子高校まで行かせるぐらいな人ですから」。

この輪の一員に絶対入りたかった

今年4月、東京都大田区にある浦田女子高等学校に福岡から入学した一人の高校生がいます。名前は福山美



奥村奈未

Nami Okumura

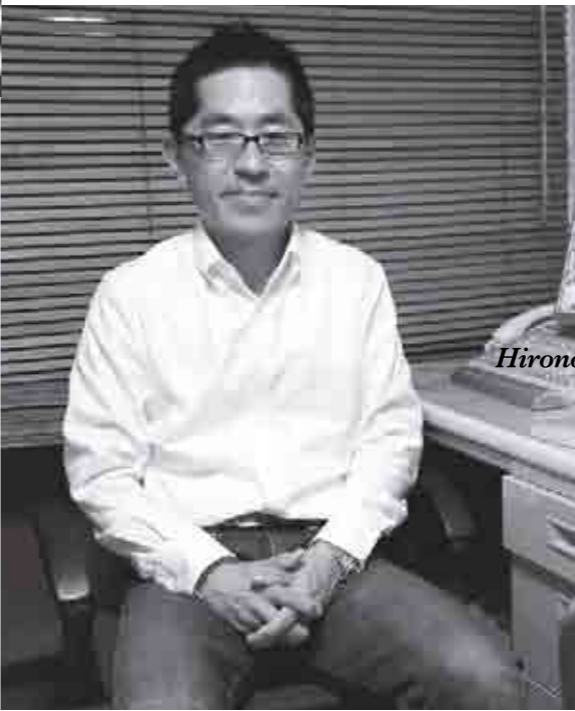
埼玉栄高等学校女子硬式野球部  
将来は女子プロ野球選手を目指しています。全国から60人を超える部員が集まって、日々練習に取り組んでいます。

紗樹さん。彼女の目的は女子硬式野球部に入ることでした。「私は経験者ではなく、ここに来て初めて本格的に野球に取り組みましたが、これまで興味はありませんでした。母がこの学校を見つけてくれて、中学校二年生のときでした。一緒に学校見学に行っただけです。そうしたら、先輩たちが

本当に楽しそうに野球をしている姿を目の当たりにして、それが頭から離れなくなったのです。この輪の一員に絶対入りたいと思いました。母も応援してくれて、ここで野球がで

胡桃広伸

Hironobu Kurumi



きるようになりました。父は心配してくれていますが、本当に感謝しています。練習は厳しいですが、毎日楽しく充実しています。試合に使ってもらえるように頑張りたいですね」。

部員が六十人を超える埼玉栄女子硬式野球部

11月3日、福山さんが所属する浦田女子高校女子硬式野球部は埼玉栄川越市にある尚美学園大学のグラウンドにいます。この日はジャイアン

日本女子野球協会事務局長

「女子野球を応援する近所のおじさん」。私の仕事を一言でいえばそんなところです。彼女たちの熱い思いを全国に広げていきたいですね。

ます。

今日も勝つことができても良かったです。私は将来、女子プロ野球選手を目指しています。ここで努力して夢をかなえたいです」。

このジャイアンツ杯争奪関東女子硬式野球リーグ戦を主催するの

が関東女子硬式野球連盟。その実行委員を務め、日本代表候補でもある新井純子さんはここ最近の女子野球のレベルアップに目を見張るものがあると話します。

「私は日本代表を二期務めてきましたが、当初はダブルプレーをとっただけでも大喜びしていました。ライトゴロなんてこともた



新井純子

Junko Arai

第11期日本女子野球代表候補

来年8月のワールドカップでは日本の3連覇を達成して「ジャパン」のユニホームにあこがれる選手を1人でも多く増やしていきたいですね。

ヴァイジョン47への挑戦

したいと思います。私は、尚美学園大学の女子硬式野球部のコーチも務めています。以前に比べ、野球をやる環境は良くなってきてはいますが、まだ厳しい状況です。やりたくてもできない人が多くいると思いますが、それでもあきらめないで続けていってほしいですね」。

の日本代表候補に選ばれました。大会二連覇を成し遂げてきたなかで、厳しい試合が待っていると思います。三連覇を達成して、多くの皆さんに女子野球の存在をアピール

胡桃さんは女子野球に取り組み選手の質が変わってきたと話が続きます。

「これまで運動神経がある子は、陸上部やバレーボール部などに入っていました。そのため、どうしても野球をする女子はその子たちよりも能力が劣っていたのが現状でした。でも最近では、身体能力の高い女子が野球を選ぶようになってきたのです」。

私が今提唱しているのが「ヴァイジョン47」というものです。各都道府県に1校、女子野球部を創部していく普及活動のスタートガンです。始めに話しましたが、現在の競技人口は八百人。この拡大が急務です。それぞれの地域に女子野球部ができれば、一校二十人集まった計算でも九百四十人増えることになりそうです。これまであきらめていた子どもたちに続けられる環境を構築することができます」。

尚美学園大学は、大学女子硬式野球部が初めて創部された所であり、女子選手たちにとっては聖地の一つでもあります。

尚美学園大学から始まった女子野球の取り組みは今、転換期を迎えようとしているのかもしれない。来年八月、カナダで行われるワールドカップで優勝を勝ちとることで、多くの皆さんに女子野球の存在を知っていただくと同時に、一人でも多くの選手を増やしていくことに、これからも挑んでいきます」。



これ以上の失点が許されない中、三塁ランナーの飛び出しを見逃さなかった浦田女子高校。守備の連携でアウトをもぎ取りました。

来年、カナダで行われるワールドカップ。第十一期

# 決意

# 都市基盤整備が運ぶ、新しい息吹

## Challenge 3 Improving urban infrastructure.



昭和49年の航空写真。写真中央が露天堀となり、現在整備を進めている毛勝総合公園「光陵グリーンパーク」の位置となります。

ほんの三十七年前、そこは荒れ果てた土地でした。それが現在、筑豊地区初となる公認規格を有する野球場を持つ都市公園に生まれ変わるうとしています。公園の整備は市民の皆さんにとって念願でもありました。この公園や球場を核に、市では新しい挑戦に取り組んでいます。有吉哲信市長にその熱い思いを伺いました。

今からでは想像もつかないかも知れませんが、毛勝総合公園「光陵グリーンパーク」がある場所は日本の近代化を支えた石炭を採掘した露天堀の跡地なんです。

貝島炭鉱が閉山したのが昭和51年。その後、手つかずの状態が続きここは、荒れ果てた土地となっていました。当時、住民の皆さんにアンケートをした結果、整備してほしい施設の一番に総合運動公園が挙がっていました。そのようなことから整備する土地を選定した結果、現在の場所となったわけです。

それから、制度事業などを活用しながら長い年月がかりでしたが、県下でも八番目、筑豊地区では初めてとなる公認規格を有する野球場ができるのは、当時を知る人は想像もつかなかったのではないのでしょうか。

高校球児 秋貞姉妹  
『基盤づくりへの思い』

# 息吹

公認規格をもつ野球場を整備するには大きな理由があります。

青少年育成ゾーンの一つでもある西鞍の丘総合運動公園では、市になって芝生化に取り組みました。それがきっかけとなり、来年の3月10日から11日にかけて行われる九州ジュニアサッカー大会の会場に選ばれたのです。九州各地からこの宮若に人々が集まってきました。

この地が選ばれた理由として、グラウンドを含めた環境のすばらしさと若宮インターチェンジからのアクセス。そして宿泊する場所がたたくさんあるということ。グラウンドの隣には宿泊研修施設がありますし、脇田温泉も近くです。試合関係者や応援する人を含めると、千五百人以上の人が訪れるとのこと。経済効果の面からも大きな期待を寄せています。

### interview

有吉哲信【宮若市長】

野球好きな私にとっても、毛勝総合公園「光陵グリーンパーク」には大きな期待を寄せています。オープニングイベントにプロ野球選手による野球教室などできたらいいですね。

その他、大型のバスも止めることができる駐車場も完備します。すぐ横を通る県道、勝野長井鶴線も来年の三月に開通する予定です。そうすると、国道二百号からのアクセスも格段に良くなります。このように市の都市基盤を整えていくことで、これまで出会うことのないプロの選手たちの試合などに触れる機会が出てきます。サッカーや野球に取り組んでいる子どもたちには、非常に良い経験になるはずです。

思いをカタチに  
夢を描けるまちづくり

先日、若宮コミュニティセンター「ハートフル」に行ったときでした。市民の方から「市長、図書館ができるのを心待ちにしています」と話しかけられました。

その方は宮田地区にお住まいですが、本の貸し借りに「ハートフル」に来ているとのことでした。休日ともなれば、三百人を超える皆さんが利用する若宮コミュニティセンター「ハートフル」も皆

ここは野球場だけではなく、多目的グラウンド



休日もなれば、三百人を超える皆さんが利用する若宮コミュニティセンター「ハートフル」も皆

「私の家の近くに公認球場ができるなんて、完成したらぜひプレーしたいですね」と、期待を寄せる秋貞江美さん、真弓さん。LEDによる電光掲示板も完成し、来年9月のオープンにむけて工事は進んでいます。



### 設備が整ったすばらしい野球場ですね 利用予約をとるのに苦労しそうです

肘井 利一さん

近畿大学産業理工学部硬式野球部監督

「野球場のグレードとしてはとても高いものがあり、素晴らしいの一言につきまます。ここで大学のリーグ戦などができたらいいですけど、これだけの球場だと予約の取り合いになりそうですね。」

11月17日、近畿大学産業理工学部で硬式野球部の監督を務める肘井利一さんは、毛勝総合公園「光陵グリーンパーク」の視察に訪れました。「工事中の道路が完成すればアクセスも良くなりますし、完成が本当に待ち遠しいですね。」

市職員にファウルネットの高さを聞くなど、細かい点も視察した肘井さん。ここで、大学野球の試合が行われるのも近い日のことではないかもしれません。

さんから愛され、新しくできる施設に大きな期待を寄せていただいていることを肌で感じました。

今回、秋貞姉妹の野球に対する取り組みを知り、とても感動しました。受け入れをしてくれた高等学校もすばらしいと思います。私も一度、テレビで女子野球を見たことがありますが、その知名度はまだ低い状況にあるのかもしれない。しかし、彼女たちの取り組みは、これからの人生にとってかけがえのない経験となっていくことに違いありません。

市も青少年育成ゾーンが少しずつ形になり、これまでにない新しい息吹が感じられるようになってきました。皆さんの思いをカタチに、子どもたちが夢を描けるまちづくりを共に進めていきましょう。

## Challenge 4 From sports to develop human resources.

# スポーツから人づくり、そしてまちづくりへ



野見山 宗さん  
宮若市体育協会会長

スポーツを通して人づくりを進めている宮若市体育協会。今、子ども達を取り巻く環境も変わり、その活動のあり方も変ぼうしているとのこと。体育協会が掲げる理念からどのような課題が見えてくるのでしょうか。

「ある日曜日、若宮小学校近くのコンビニに立ち寄ったときでした。グラウンドではスポーツ少年団によるサッカーの試合が行われていたようで、小学二、三年生ぐらいの少年だと思いましたが、トイレを借りて来ました。すると、店員さんに『トイレを使わせてください』とあいさつし、帰り際にも『ありがとございませした』とお礼を言ってお礼をして出ていきました。これが、スポーツ少年団の真骨頂だと思ったんです」とエピソードを話す宮若市体育協会会長の野見山宗さん。

「もちろんスポーツですから、勝ち負けがあり競うことも大切です。でももっと大切なことは、人に感謝することや礼儀などではないでしょうか。先ほど紹介したサッカー少年も、始めからそのようなことができていたのではないと思います。サッカークラブに入ったからこそ学んだのではないかと思うんです。指導者には本当に頭が下がります。普段からそのような助言を徹底されているのだと思います。

小さい頃からあいさつや敬語を学ぶことは難しいですが、スポーツ少年団に入ることでも会得していくという一つの例でもあります。宮若市には21の団体があります。野球やサッカーはもちろん、たくさんあるスポーツがありますので、興味がある教室には一度、見学することを勧めます。

### enjoy sports! 宮若いきいきスポーツクラブ 12月の教室参加者募集

種目	内容	とき・ところ	費用
<b>スポーツタイム</b> <i>Sports time</i>	特に決まった競技をするのではなく、卓球やバドミントン、ドッチビーやスポーツチャンバラ、ビーチボールバレーなどで楽しめます。	●とき 12月2日(金)、16日(金)、午後8時から9時30分まで ●ところ 宮田西中学校体育館 ※当日の受け付けも可能です	●会員 無料 ●小中学生 無料 ●高校生以上 100円 ※月額の金額となります。
<b>健康体操教室</b> <i>Health exercise class</i>	身体を動かす楽しさや友達との交流の喜びを味わいながら健康づくり、体力の維持向上を図ることができます。	●とき 12月8日(金)、22日(金)、午後1時30分から2時30分まで ●ところ B & G海洋センター ※当日の受け付けも可能です	●会員 600円 ※参加者は会員になることが前提となります。会費は月額となります。
<b>スポーツ吹矢教室</b> <i>Sports FUKIYA class</i>	腹式呼吸と胸式呼吸で、健やかな体づくりをすること。ゆっくりリズムのスポーツとして注目を集めています。	●とき 12月5日(日)、19日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ B & G海洋センター ※当日の受け付けも可能です	●会員 700円 ●一般 1,000円 ※会費は月額の金額となります。
<b>ヨガ教室</b> <i>YOGA class</i>	心と身体の健康を増進します。服装は動きやすい服装、ヨガマットがない人はバスタオルでも代用できます。	●とき 12月5日(日)、19日(日)、午後8時から9時30分まで ●ところ B & G海洋センター ※当日の受け付けも可能です	●会員 1,000円 ●一般 1,500円 ※会費は月額の金額となります。
<b>ウォーキング教室</b> <i>Walking class</i>	歩くことは健康づくりの基本です。正しい歩き方をマスターし、より効果的なウォーキングを楽しめます。	●とき 12月12日(日)、26日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ B & G海洋センター ※当日の受け付けも可能です	●会員 300円 ●一般 500円 ※会費は月額の金額となります。

市の西に位置する西鞍の丘総合運動公園の多目的広場は二万平方メートルの広さを誇り、平成22年度と23年度に芝生化の取り組みと同時に、クラブハウスを建設しました。週末にはサッカーを楽しむ人で多くの予約が入っています。

若宮地区の拠点となる若宮コミュニティセンター「ハートフル」や皆さんが開館を心待ちにしている図書館を核とする生涯学習拠点施設。東部には筑豊地区初となる公認規格をもつ野球場がある毛勝総合公園と、地域の中心部を文化の拠点、東西をスポーツの拠点としているのが「青少年育成ゾーン」です。

青少年育成ゾーンの一角を担う図書館を核とする生涯学習拠点施設の工事も順調に進み、その内部を一部ご紹介いたします。

内装工事がほぼ終わったことから、これから本棚などの搬入が行われます。蔵書規模は八万冊。特に児童書に力を入れていく予定です。また、『東京タワー』と『オカシとボク』と、時々、『オトノ』の著者であり、本市で少年時代を過ごしたリリーフランキーさんが手掛けたイラストを施設のイメージキャラクターとして使うことが決定しています。どのようなキャラクターになるのかは完成次第皆さんにお知らせします。

全国のどの地域にも負けない人材を育成していくために必要なこと

## 青少年育成ゾーンの可能性

column  
都市基盤整備の現状



平成25年度開校予定の(仮称)宮若市立東地区中学校の完成予想図。

### 青少年育成ゾーン

- 1 西鞍の丘総合運動公園
- 2 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 3 図書館を核とする生涯学習拠点施設「リコリス」
- 4 毛勝総合公園「光陵グリーンパーク」



環境と快適な読書環境を考慮し、九州で初となる地熱探熱床放射空調システムを導入します。



「子どもたちが夢を描くことができるまちをつくりたい。」

その思いからこの公共空間を青少年育成ゾーンと名付け、子どもたちの健全育成の場になってほしいと願う行政運営を行っている宮若市。この子どもたちの健全育成を含めた人づくりには、教育環境の充実も必要不可欠です。

学校再編を始めとする本市の学校教育を取り巻く環境は賛成、反対とさまざまな意見があります。新しい学校がどのような教育方針なのか、その明確なビジョンを皆さんに提示する必要がありますと考えています。

今年3月をもって百年の伝統と歴史を刻んできた若宮南小学校を若宮小学校と統合しました。その一方で、若宮幼稚園では新たに3歳児教育の導入にむけて取り組んでいます。

10月27日、対象地域の皆さんへの説明会も実施し、参加した皆さんからは多くの期待を寄せて頂いています。

東地区の中学校ではいよいよ工事に入っていきます。新しい中学校の体育館の二階には三百席の観客席も備え、学校教育だけでなく、市民の皆さんも利用できるような施設となります。教育の場にも青少年育成ゾーンを活用していくことで、全国のどの地域にも負けない人材を育成していく可能性があります。



体育協会では、子ども達から高齢者の皆さんまでスポーツを親しんでもらうための取り組みを行っています。特に宮若のこれからは担っていく子ども達への取り組みには力を入れています。

## 少子化と子ども達の体力低下

「宮若市内の学校も一学年一学級という状況が増えているのではないのでしょうか。子どもたちの人数が少なくなれば、人間関係を育成していく視点から考えても決して良いことではありません。」

さらに、外遊びする子どもたちが少なくなったからか、体力の低下という問題もあります。これは、宮若市だけでなく、日本全体の大きな問題として取り上げられています。

これからのことを解決していく一つに、スポーツ少年団があるのではないのでしょうか。どのスポーツ少年団も共通して言えることは、異なる年齢の集団から構成されていること。さらに、いろいろな学校から集まることから、人付き合いの幅は確実に広がると考えます。

また、体力を向上させようと思いついても一人では難しいものです。集団の中で切磋琢磨してスポーツの厳しさを、そして楽しさを体験する必要がありますので参加してみませんか。

## 男女を超えてスポーツを楽しむ

「近所を散歩しているときで、少年野球チーム、若宮ペガサスのユニホームを着た児童が練習を終えて帰るところに出会いました。そして驚いたのです。近くでみると女の子なんです。『野球部に入っとうとう？』と、尋ねると元気よく返事をしてくれます。弟さんが入ったのをきっかけに、野球を始めたことを話してくれました。」

今考えれば、大変失礼なことを聞いてしまったと後悔しています。女の子だからといって野球をしたらいけないということはありません。きっかけは弟さんの入団だったかもしれませんが、野球の楽しさに触れ、そして自分の意思で続けているのですから。

男の子だから、女の子だからというのを超えて楽しめ、挑戦できるのがスポーツではないでしょうか。

彼女は今、若宮中学校の野球部に入って頑張っていると聞いています。これからも続けていってほしいですね。

## スポーツで夢づくり 人づくり 健康づくり、そしてまちづくりへのつながり



### スポーツ吹矢教室

県内でも取り組んでいるところが少ない吹矢教室。心肺機能を高めることができ、高齢者に人気です。



### ヨガ教室

運動が苦手な人でも、身体を動かすことを楽しく思えるようになるヨガ教室。心と体のバランスを整えることができます。



総合型地域スポーツクラブ「宮若いきいきスポーツクラブ」とは？



文部科学省は、大人の週1回以上のスポーツ実施率を50パーセントにする目標を達成するために提唱したのが総合型地域スポーツクラブです。身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいクラブとして全国で取り組みが行われてきました。

宮若市では平成22年2月14日に「宮若いきいきスポーツクラブ」を発足。「いつでも どこでも だれでも」を合言葉に、新しいスポーツなどを取り入れながらスポーツ種目を超え、さらに世代も超えた運営が行われています。

## 皆さんの参加があって初めて成り立つのがいきいきスポーツクラブなんです

interview

野見山弘次さん

宮若いきいきスポーツクラブ理事長

平成22年2月に発足して活動してきた宮若いきいきスポーツクラブ。「いつでも、どこでも、だれでも」をキャッチフレーズにこれまで取り組んできました。会員数は246人になり、その約半分が65歳以上の皆さんですが、もちろん、若い人も元気に活動しています。

周辺の市町村の総合型スポーツクラブに比べ、多くの教室

を持っているのが特徴の1つでもあり、吹矢やチャンバラなどの新しいスポーツも取り入れています。まずは1度参加してみてください。

皆さんの参加があって初めて成り立つスポーツクラブなんですから。



宮若いきいきスポーツクラブでは今、学校教育の中にも入っているとのこと。日曜日に教室を開いても保護者も子どもたちも忙しく、参加が見込めない状況を打開するため、学校のクラブ活動の時間や総合的な学習の時間を使って、高齢者と児童の交流ができる、グラウンドゴルフの講座を行っています。

始める前はうまくいかどうかわかりませんが、半信半疑ながらもあったそうですが、学校や児童からもまたぜひお願いしたいという要望とお礼を頂いていると聞きました。スポーツを通じて、高齢者と子ども達の交流を行うことは、二年前に発足した総合型スポーツクラブ「宮若いきいきスポーツクラブ」の目的の一つでもあります。クラブではたくさんの方の教室を用意していますので参加してみませんか。

## enjoy sports! 宮若いきいきスポーツクラブ 11月の教室に参加した皆さん

### スポーツタイム



さまざまなスポーツ楽しむことができるスポーツタイム。会員になれば無料、会員でなくても高校生以上は100円とお手頃です。

### ウオーキング教室



1人で取り組むよりも、仲間と一緒にしませんか。専門の先生の指導のもとに行うウオーキングはひと味違います。

## スポーツで夢づくり、そして人づくり

「体育協会にも大きな課題があります。それは指導者不足です。いきいきスポーツクラブでもその多くの教室が外部からの講師をお願いして取り組んでいます。長期的な視点で考えたとき、その教室で学んだ人が公認スポーツ指導者などの資格を取得して、講師となつてその講座に戻ってくるのが理想です。現実には厳しいかもしれませんが、私たちは課題解決への希望を持っています。」

それは私たちが知らないだけで、市内には有能な指導者がたくさんいるのではないかと考えるからです。自動車関連企業がたくさん立地している宮若にはたくさんの方が働いています。体育協会と人たちが直接結びつける機会があれば、すばらしい経験をもった人を発掘できると思います。

スポーツを楽しむ環境整備が着実に進んでいる今、行政と協働してそのような橋渡しができるれば、宮若市スポーツ振興基本計画の理念にある「スポーツはみんなのもの、スポーツで夢づくり人づくり健康づくりみやわか」の実現に近づけるのではないかと考えるのです。

まちづくりも人づくりから始まります。スポーツを通して絆を広げ、つないでいく取り組みを今後さらに進めていきたいですね。」

## interview スポーツ少年団、若宮ペガサスからの挑戦



## 宮本亜美さん

若宮中学校1年生野球部

若宮中学校の野球部で毎日汗を流す宮本亜美さん。小学校4年生のときに弟が入ったスポーツ少年団、若宮ペガサスの入部をきっかけに、野球を始めます。「弟が楽しそうにやっているのを見て、興味を持ちました」と、始めたきっかけを話してくれました。「中学校に入ったとき、迷いはありましたけど野球部に入りました。入部して良かったと思います。同じペガサスで野球をした先輩たちもいますので、毎日楽しく練習をすることができています。早くレギュラーになれるようにがんばりたいですね。」



広報担当がどこにでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

# Miyawaka Watching

## 電動車イス、無事故の秘けつ

### ▶ 電動車イス、勉強会

10月25日、宮若市交通公園で直方警察署が主催して電動車イスの勉強会が行われ12人の皆さんが参加しました。

公園内に特設コースを設置し、狭い道での運転技術や見通しの悪い交差点の通過方法、さらにバックの操作方法などを警察官や日本福祉用具供給協会筑豊支部の皆さんの指導のもと、技術向上に取り組みました。参加した福川良司さんは「電動カーに乗って4年ほどなりますが、年に1度でもこのような講習会があると気が引き締まります」と話してくれました。県内でもこのような勉強会を実施しているところがない貴重な勉強会。市内無事故の秘けつがここにありました。



## クルマと環境・経済の関係を体感

### ▶ 市内3小学生在トヨタ原体験プログラムを体験

11月18日、若宮西小学校体育館でトヨタ原体験プログラムによる学習会が行われました。吉川小学校と山口小学校の5年生も一緒になってクルマと環境、経済との関わりをクイズやボードゲームを活用して学びました。

自動車ばかり作れば環境悪化を招くなど、それぞれの関係に頭を抱えながら勉強した児童たち。若宮西小学校の丹下晏郎さんは「最初はエコカーをたくさん作って景気をよくすればいいと思ったけど、環境のことやクルマ1台開発する時間とお金を考えると難しいことがわかりました」と感想を寄せてくれました。



## 納期限内の納付をお願いします

### ▶ 筑豊地区合同公売会

11月12日、田川市民会館で筑豊地区合同公売会が行われ、宮若市からも58品を出品しました。この公売会は税金の滞納を解消するために、滞納者から差し押さえた財産を公売するという、滞納対策の1つです。本市の他にも直方市や小竹町など8市町と2つの団体が参加しました。

宮若市から出品した全てのものを完売することができずでしたが、この日の総落札金額は165,281円となりました。このお金は未納の税金に充てることになります。市では今後も税の滞納者には督促状の送付や差し押さえなど、厳しい対応を行っていきます。



## 火の国で完全燃焼、全国優勝を達成

### ▶ 宮田バイオレット、ねんりんぴっく2011で優勝

10月14日から18日にかけて熊本県で行われたねんりんぴっく2011で、福岡県代表としてソフトバレーボールに出場した宮田バイオレットが優勝を勝ち取りました。全63チームが出場した今回の大会。バイオレットは順調に勝利を重ね、決勝は山梨県の代表と対戦。一進一退の攻防が続き、優勝をかけた最終セットで11対14とマッチポイントをかけられますが、四連続ポイントで逆転。劇的な勝利と日本一を手にしました。キャプテンの古野正勝さんは、「絶体絶命の状況からの逆転に興奮しました。日ごろの練習の成果が発揮できてよかったです」と金メダルを手に喜びを語ってくれました。



## 災害に備える

### ▶ 災害時要援護者、避難誘導訓練

災害を想定した避難誘導訓練を、11月12日、中央公民館前広場で行いました。自治会や消防団、婦人防火クラブの皆さんと障害をもつ皆さんと一緒に進む訓練で、初めての取り組みでもあります。

目が見えない人や聞こえない人をどのように避難誘導したら不安なくできるかなど、手話や身ぶりを交えながら、意思の疎通を図りました。

わらびの会の岩見正仁さんは、「初めての取り組みということもあり、いろいろな課題がみえてきました。これからその課題を解決していくためにさらに連携を深めていきたいですね」と、訓練の成果に手応えを感じていました。



## 我が家の愛とる。

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。1月生まれで掲載を希望する人は、12月13日頃までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。



こじょう みゆ  
小城 美優ちゃん  
H 20年 12月 8日生 (宮田)

みゆちゃん、お誕生日おめでとう。毎日早起きありがとう。眠くて元気いっぱい助かっているよ。



ばば あいり  
馬場 愛梨ちゃん  
H 20年 12月 8日生 (上大隈)

おてんば愛ちゃん♡3歳おめでとう！3歳は女の子らしく…がんばりましょう。いつもママのお手伝いありがとう。



ほんだ こたろう  
本田 虎太郎ちゃん  
H 22年 12月 3日生 (本城)

虎太郎君、1歳のお誕生日おめでとう！これからもお姉ちゃんと仲良く、たくさん遊ぼうね。



まつい ゆな  
松井 優奈ちゃん  
H 20年 12月 30日生 (脇田)

3歳おめでとう。♡優奈♡いつも笑顔ありがとう☆。パパとママは幸せです。



まつうら みう  
松浦 美羽ちゃん  
H 22年 12月 19日生 (本城)

明るく元気いっぱい育ててね！



やすこうち みつる  
安河内 満ちゃん  
H 20年 12月 18日生 (金丸)

3歳のお誕生日おめでとう！



わたなべ あいか  
渡邊 愛加ちゃん  
H 20年 12月 10日生 (金丸)

何でも自分でできると嬉しいね。あなたのとびっきりの笑顔がたくさん見せてくださいね♡

直方人権擁護委員協議会「優秀賞」の作品を紹介します。

# 今、私たちが感じること

次世代を担う中学生に、豊かな人権感覚を身に付けてもらうために福岡県法務局と県人権擁護委員連合会が主催して行っている、全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会。市内から二人が直方人権擁護委員協議会より表彰を受けました。今、中学生がどのようなことを考え感じているのか。伝えようとする、作文から迫ります。

## 「祖父の言葉」

若宮中学校三年生 松山 翔

僕は小学校五年生の夏休みに市のボランティアスクールに参加した事があります。障害について学ぶ車イスやアイマスク体験、九州盲導犬訓練センターでは盲導犬の仕事を見学しました。初めて盲導犬を見て驚きました。目の不自由な人のために厳しい訓練を受け一生懸命仕事をしていました。目の不自由な人と盲導犬が信頼し合っている姿を見て、盲導犬はこんなに目の不自由な人のために頑張っているのには僕は体の不自由な人に何もしてあげていないという気持ちでいっぱいになりました。

中学校三年生になった今でも僕はあの時と同じ気持ちでいます。正直、体の不自由な人や困っている人に声をかけ、手を差し出す勇気がなかなか出ません。

実は、僕には声の出せない祖父がいます。祖父は十三年前に咽喉を摘出しました。僕が二歳になる前、やっと言葉が出始めたそののです。今まで病気とは無関係で元気だった祖父は病気で声を失ってしまいました。

た。

声を無くし話すことができず、自分の意思も伝わらない、いら立ちから祖父は何度も負けそうになったそうです。

でもそんな時、毎日のように病院の廊下を走って来る僕の足音、大きな笑い声、話せない祖父に今までと同じように普通に話し掛けてくる僕、そんな姿に祖父は「頑張らない」と思い始め、僕が上手に話せるようになるか、祖父が発声できるようになるか競争をしていたそうです。

そんな祖父は今では声を出す事ができません。人には聞きづらいいと思いますが僕たちには良く聞こえます。

何も知らない人が祖父を見るとびっくりした顔をします。喉に穴があいているからです。それと声を聞いたからだと思います。でも僕たちには祖父は自慢の祖父です。

つい最近、祖父がこんな話をしてくれました。「お前が小さい頃、じーじに生きる力と勇気をくれたんだよ」と。

## 「守るべき人権」

若宮中学校三年生 清水 ひかり

人間には生まれたその瞬間から、一人ひとり平等に「人権」というものが与えられる。人権とは人が人として生きるための権利である。最近よく「人は決して平等なんかじゃない」という人がいる。

確かに、お金や地位は皆平等とは言えないだろう。努力をした人や恵まれた環境に生まれた人が上に立つようになってきている。

しかし、人権というのは皆平等なのだ。だから、地位を利用して人を見下すようなことはしてはいけない。でも、最近人権を尊重しない人が増えてきている。

例えばちょっとした「いじめ」だ。私は今まで何度もいじめを見てきた。いじめの始まりは本当にちょっとしたことだ。一番多いのは、グループの中心的人物が嫌っている人が、いじめの被害者になるというパターンだ。いじめの被害者は被害者によく「弱い」と言う。

しかし私は違うと思う。いじめの被害者が弱いのではない。本当は、いじめの加害者が一番弱いのだ。いじめの被害者は自分がターゲットになりたくない、そんな気持ちからやっている人がほとんどだろう。本気で被害者が嫌いな人は、加害者のごく一部しかいないのだ。自分を守るために人を傷つけるいじめの加

害者は被害者を傷つけ追い込むのを楽しんでいるのだ。

「見て見ぬふりもいじめの一つ」。こんな言葉をよく耳にする。でも実際のいじめを目の前にすると、「いじめはだめ」そんなだれもが分かっている一言が言えないのだ。大勢で一人をいじめる、それをたった一人で止めるのは難しいだろう。

しかし、いじめを受けている子に優しい言葉をかけてあげることがだれにでもできることだ。「大丈夫だよ」。

そんな一言で救われる人がいるのだ。私はいじめを見て見ぬふりをしたことがある。見て見ぬふりをした時は何とも思わなかった。しかし今考えると後悔している。私の一言でいじめの被害者を救えたかもしれないのだ。いじめの加害者は軽い気持ちなのだろう。まさか自分が人権を侵害しているとは思っていないだろう。

しかし、いじめは立派な人権の侵害なのだ。いじめは大きさに関係なく、全て人権を侵害する行為なのだ。

もちろん、いじめだけが人権の侵害ではない。人種の差別、奴隷制それらもすべて、人が人として生きるための権利を奪っているのだ。現在世界にはさまざまな人権問題がある。それをすべて無くするのは不可能だろう。

しかし私たち一人ひとりの行動、考え方が変わるだけで少しは無くなるのではないだろうか。すべての人に平等に与えられて

今、祖父が生きていられるのは僕のおかげなんだと言ってくれます。

その時は胸の奥が熱くなり涙が出そうになりました。声の出せない祖父から大切な言葉をもらいました。今まで人のために何もしてあげられず、声を掛け手を差し出す勇気もない僕が人に力を与えていたことを知りました。

普通に接する事で人に勇気や力をあげられる事を祖父から教えてもらいました。

これから先、僕は自分でも気がつかない間に自然に誰かの力になっているような人になりたいです。



松山 翔さん  
【まつやま かける】

4月に家族でおじいちゃんの家に行ったことを思い出して作文してみました。この作文を読んでくれた人が自分もがんばろうと思えるようになってくれたらうれしいですね。



清水 ひかりさん  
【しみず ひかり】

受賞を聞いてびっくりしたのが正直な感想です。12月5日の人権講演会でこの作文を朗読する予定です。来場者の皆さんに人権について考えるきっかけになればと思います。

いる権利、人権をまずは一人ひとりが尊重していくことが、差別やいじめを無くすための大きな第一歩につながるのではないだろうか。

## 思いやりを ひまわりの種に託して

宮田東小学校3年生、人権の花運動



10月28日、宮田東小学校3年生が、「人権の花運動」の学習の一環として自分たちで育てたひまわりの種をつけた風船を空に飛ばしました。

この運動は人権の花であるひまわりの栽培を通して思いやりの心をはぐくむことを目的に行っています。児童はひまわりの種をそれぞれのメッセージを書き込んだ袋に入れ、風船で飛ばしました。荒木はづきさんは、「私たちが一生懸命お世話したひまわりを大切に育ててくれたらうれしいです。風船が外国まで届いたらいいな」と話し、風船が見えなくなるまで見送っていました。





みやわか  
M for More Info

広報の配布

## 広報みやわか1月号は、 1月4日からの配布となります

●問い合わせ 本庁秘書広報係 ☎ 32・0511

各自治会の中で回覧する情報は、これまでどおり自治会長宛に郵送で対応して

### 自治会長のお宅には 二日間かけて 郵送します

合併前までは自治会に入っていない世帯には、お届けできなかった広報紙ですが、現在では宮若市の全世帯に配布しています。市内全世帯に配布するため、一日で配布することはできません。そのため、月始めから四日間をかけて配布します。天候の影響で配布日が異なることもあります。また土・日曜日、祝日(年末年始は除く)も配布します。

### 宮若市の全世帯に 配布しています

毎月、皆さんのお手元に配布している広報みやわか「宮若生活」。来年1月号の配布日が通常と変わりますのでお伝えします。通常毎月一日から四日間をかけて配布しますが、1月号は1月4日から配布します。ここでは現在の配布について説明します。

## 毎

ます。そのため、自治会長のお宅には広報紙とは別に回覧板用の冊子が届くこととなります。二日までにお手元に届くように手配していますが、郵送遅延などで遅れることもあります。ご了承ください。

### 広報紙が 届いていない場合は ご連絡ください

もし、四日間を経過しても広報紙が届かない場合は、本庁秘書広報係にご連絡をお願いします。そのときに、職員があなたのお名前と住所、電話番号をお尋ねします。その情報をもとに地図で確認後、配布を行います。翌日以降配布漏れのないように対応します。ご理解のほどよろしくお願い致します。

### 広報みやわか「宮若生活」



未配の連絡は本庁秘書広報係まで連絡をお願いします。



みやわか  
M for More Info

## 年末年始のごみ、し尿の収集日程に ご注意ください

●問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516  
支所福祉グループ ☎ 52・1113

し尿の収集は、12月31日(日)から1月3日(火)までお休みします。臨時収集の申し込みは、12月27日(金)までに連絡をお願いします。

収集業者	電話番号	業種
サン・フレッシュサービス	☎32・1176	し尿・ごみ
西鞍手浄化槽管理	☎32・0507	し尿・ごみ
クリーンサービス若宮	☎52・3337	ごみ
宮田環境	☎32・2445	ごみ
友永清掃	☎080・6417・2141	ごみ
エーアンドシー	☎09496・2・1197	ごみ
協和環境	☎32・4821	し尿
タケマツ環境	☎52・0903	し尿
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	☎0948・21・4973	犬猫

第1次宮若市総合計画



みやわか  
M for More Info

## まちの将来について一緒に考えませんか 総合計画策定市民ボランティア募集

●問い合わせ 本庁企画調整係 ☎ 32・0512

### 総合計画に基づいて行った主な事業



① 火葬場桜華苑 ② 特産品の取り組み(地黄卵) ③ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」 ④ 図書館を核とする生涯学習拠点施設 ⑤ 子育ての充実(子育て支援センター) ⑥ 観光情報の発信(筑豊フェア2011)

### ひと・みどり・産業が輝く 新たなふるさとを目指して

市では、平成19年度に「第1次宮若市総合計画」を策定し、将来像を「ひと・みどり・産業が輝く新たなふるさと」と定め、着実に

まちづくりを進めてきました。平成20年度から24年度までの5年間の基本計画が来年度で完了することから、その先の5年間、平成25年度から29年度の主要な事業を定めた「後期基本計画」の策定に本年度より取り組んでいます。市の将来像の実現を目指し、市民の皆さんと協働のまちづくりを進めていくために、その大切な計画書を作る段階から、皆さんの声を聞きたいと考えています。そこで、市民ボランティア会議を開催し、平成20年度から24年度までの5年間の取り組みに対する市民の皆さんの視点からの評価



付箋紙を使ってグループごとに発表するなど自由楽しく会議を行います。

や、今後どのようなことに取り組んでいくのかなど、意見を伺いたいと考えています。付箋紙などを使って、意見を出し合うなど、自由に楽しく語り合えることができるように工夫しながら、会議を進めていきます。あまり難しく考えず、まちづくりへの意見を交換してみませんか。「このまちに住みたいくなる、住んでよかった」と言ってもらえるような宮若市するため、あなたの応募をお待ちしています。

- 募集人数 十八人程度
- 応募資格 市に住んでいるか、勤めている人で18歳以上の人(高校生は除きます)
- 募集締切 12月22日(火)まで
- 応募方法 今月号の広報紙と同便の応募用紙に、必要事項を記載し、直接本庁企画調整係に提出していただくか、メールやファクス、郵便などでお送りください。

その他、宮若市公式ホームページにも応募用紙を掲載しています。

### 二千五百人の皆さんに 市民意識調査を行います

総合計画の後期基本計画の策定にあたり、まちづくりへの参加状況や満足度などをお尋ねする市民意識調査も行います。16歳以上の市民の皆さん、二千五百人を無作為抽出し、12月にアンケート票を郵送しています。多くの皆さんの意見を聞く貴重な機会と考えております。アンケート票が届きましたら、ご協力いただけますようお願いいたします。

### 犬・猫の引き取り

どうしても飼えない犬猫の引き取りは、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所で行いますが、12月27日(火)から1月3日(火)まではお休みします。

現在、引き取りは、有料となっております。生後九十一日未満の犬・猫は一匹につき四百円、九十一日以後は一匹につき二千円となります。

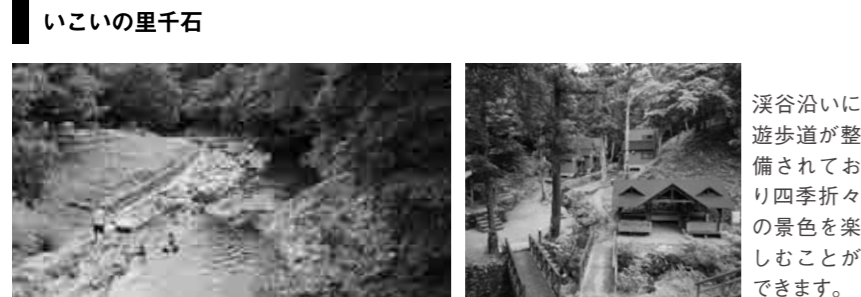
引き取りの際には事前に、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所までご連絡をお願いします。

みやわか M for More Info 指定管理者制度  
**いこいの里千石、指定管理者を募集します**

●問い合わせ 本庁商工観光係 ☎32・0519

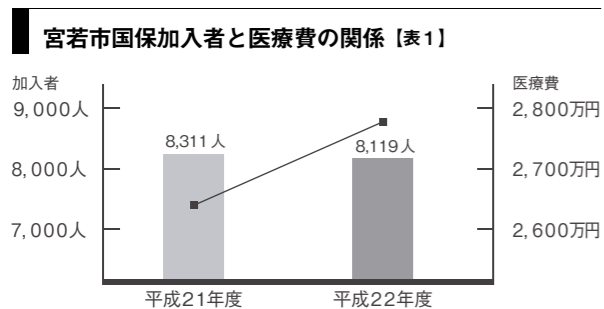
**市**では、「指定管理者制度の導入方針」に基づいて、いこいの里千石の施設を管理運営できる指定管理者を募集します。特に夏期シーズンは多くの皆さんでにぎわういこいの里千石です。詳しい内容については、配布する募集要項や市の公式ホームページをご覧ください。

- **募集施設** ▼木立の広場 キャンプ場
- ▼千石キャンプ場
- ▼花の水辺公園キャンプ場
- ▼水辺公園
- ▼千石公園
- ▼トントン井堰広場
- **指定の期間** 平成24年4月1日から平成27年3月31日までの三年間
- **応募資格** 団体であること（法人格の有無は問いません）
- **募集要項配布期間** 平成24年1月5日頃から12日頃まで
- **申請書類** ▼指定申請書 ▼定款、寄付行為、規約 その他これらに類する書類
- ▼登記事項証明書（法人のみ）
- ▼税の滞納がないことを証する書類



みやわか M for More Info 医療費削減  
**早期発見、治療が医療費削減につながります**

●問い合わせ 本庁国保年金係 ☎32・4004



**国**民健康保険制度の財政の安定的な運営のため、医療費の削減や収納対策の強化が必要になっています。これらの事業を運営するための財源は国や県の補助金や加入者の保険料などで成り立っています。財政状況がさらに厳しさを増すと、税率の改正も含めた検討が必要となつてきます。

表1では、加入者平均と入院など四項目について市の国保が支払った医療費の額を表しています。加入者が減少している一方で医療費は増加しています。また、表2では項目別の医療費を示していて、特に「入院」では前年度を一億円程度も上回っています。その要因の一つとして最先端医療の導入などありますが、必要な医療を否定するものではなく、特定健診を受診することで、病気になる前に予防し、さらに早期発見・早期治療をすることで医療費を削減することができます。と考えられます。さらに、無駄のない受診や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の服用により受診時の窓口負担を減らすことができます。

医療費の削減は国民健康保険のみならず全ての保険者の課題です。自分らしい生活をこれからも送るためにもご協力をお願いします。

医療費の項目別【表2】 単位：千円

区分	平成21年度	平成22年度
入院	1,164,000	1,279,000
入院外	892,000	893,000
歯科	196,000	200,000
調剤	400,000	390,000

みやわか M for More Info 保育所・保育園児募集  
**平成24年度 保育所・保育園児募集**

●問い合わせ 本庁子育て支援係 ☎32・0517

公立保育所

保育所	受付日時
第1保育所 ☎32・0210	1月23日(月) 午後3時から6時まで
第2保育所 ☎32・0365	1月24日(火) 午後3時30分から6時まで
認定こども園さくら幼児園 (第3保育所) ☎32・1309	1月25日(水) 午後3時30分から6時まで

●問い合わせ 本庁子育て支援係 ☎32・0517

私立保育園

保育園	受付日時
福丸保育園 ☎52・0169	1月23日(月) 午後3時から6時まで

●問い合わせ 支所福祉グループ ☎52・1113

**来**年度に保育所、保育園に入所を希望する人の申し込みが始まります。

- **入所要件** ①保護者の仕事などにより昼間に家庭で保育ができないこと
- ②母親が出産前後(6カ月)であること
- ③保護者が病気や心身に障害があること。ただし、治療するまでの期間となります
- ④家族で長期の病人を看護していること、など
- **申込書配布** 12月1日頃から
- **申込書受付** 平成24年1月4日頃から31日頃まで
- **配布場所** ▼各保育所Ⅱ 本庁子育て支援係▼福丸保育園Ⅱ支所福祉グループ

※2月以降も受け付けは行いますが、入所できる定員に限りがあるため早めに手続きをお願いします。

※市外保育所へ広域入所している人は、本庁子育て支援係に書類を提出してください。

※現在、市内保育所に入所している人は各保育所で配布します。

みやわか M for More Info 障害者控除  
**障害者控除対象者認定書で障害者控除を受けることができます**

●問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎32・0515 支所福祉グループ ☎52・1113

認定書交付の基準

障害者控除	区分	所得税	住民税
障害者控除額		27万円	26万円
特別障害者控除額		40万円	30万円

**身**体障害者手帳の交付を受けている人のほか、精神・身体に障害のある65歳以上の人で、「障害者控除対象者認定書」を添付して、所得税や住民税を申告すると、障害者控除(障害者控除又は特別障害者控除)を受けることができます。

● **特別障害者控除** ▼身体障害者の障害の程度等級表(一級、二級)と同程度の障害の程度であること

● **認定方法** 認定基準に該当する人で、介護保険の要介護一から要介護五までの認定を受けている年齢65歳以上の人は、介護保険の訪問調査情報(本人の同意を得て)を基にして判定します。

● **認定基準**に該当する人で、介護保険の認定を受けていない年齢65歳以上の人は、医師の診断書などを基にして判定します。

● **認定書の交付が必要でない人** ▼「身体障害者手帳」「療育手帳」などの交付を既に受けている人 ▼認定書による所得税や住民税の障害者控除を受けなくても非課税となる人 ▼扶養者が非課税となる人

## 01 マラソンを通して青少年の育成 2011 福岡県民さわやかマラソン大会

今年で11回目となる福岡県民さわやかマラソン大会。マラソンを通して青少年の育成と家族のふれあいを深めることを目的に行っています。

市内では、子どもまつりや、少年の主張大会などを主催している青少年育成市民会議の皆さんのサポートのもと、38人の小中学生が参加しました。

海の中道海浜公園内に作られた特設会場の中を38人全員が完走することができました。

入賞者の成績は以下のとおりです

- 小学1年生女子=荒牧季英さん(5位)
- 小学1年生女子=福芳星さん(7位)
- 中学男子=本田歩夢さん(7位)



小学3年生までは1キロ、4年生から2キロ。中学生は2キロと5キロコースを選択して走ることができます。親子で参加する種目もあり、家族でも楽しめる大会となっています。

## Social Education Information SQUARE

## 03 あなたに会いたい人がいます 平成24年宮若市成人式

- とき 平成24年1月8日回、午後1時受付、2時開式
  - ところ 宮田文化センター
  - 対象 平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人
- ※ 案内状を12月14日に発送します。21日以降になっても届かないときは、ご連絡ください。
- ※ 市外に住民票がある人で、宮若市の成人式に出席を希望する人は12月12日までに本庁社会教育・公民館係までご連絡ください。
- 問い合わせ 本庁社会教育・公民館係 ☎32・0123



## 02 平成24年度4月入学生募集 自宅で学べる放送大学

放送大学 検索

放送大学は、BSデジタル放送を利用して授業を行う、国がつくった通信制の大学です。

心理学、福祉、経済など幅広い分野の科目を1科目から自宅のテレビなどで学べます。

15歳以上、また全科履修生は18歳以上となりますが、無試験で入学でき、教養については学士の学位がとれます。短大、専門学校などからも編入学することができます。入学のチャンスは年2回(4月と10月)です。大学院もあります。

今年10月からは、放送大学の番組がBSデジタル放送で視聴できるようになりました。

自宅のテレビで大学卒業資格の取得や各種資格の取得が目指せるようになります。

今まで以上に気軽に学べる環境となりましたので、この機会に放送大学の番組を見てみませんか。(BSデジタル放送のチューナーが内蔵されているテレビとBS受信アンテナが必要)

詳しい内容については、ホームページなどをご確認ください。

- 募集締切 平成24年2月29日頃まで
- ※ 入学相談はいつも受け付けています。
- 問い合わせ 放送大学福岡学習センター ☎092・473・1365

平成23年度青少年健全育成事業「少年の主張大会」

## 届け、私の思い

11月3日、マリーホール宮田で少年の主張大会が行われました。各学校から13人の児童生徒がそれぞれの思いを発表。次世代を担う子どもたちの言葉に、会場からは惜しみない拍手が送られました。

 1	 2	 3	 4	
 5	 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生優秀賞受賞</li> <li>1. 「命の重さ」 上田桃香さん(宮田南小学校6年生)</li> <li>2. 「大切な私の宝物」 吉田芽依さん(山口小学校6年生)</li> <li>3. 「平和学習で学んだこと」 佐竹悠太さん(宮田東小学校6年生)</li> <li>4. 「ホテルとぼくの三年間」 石原温三さん(笠松小学校6年生)</li> <li>5. 「被災地に応援を」 高山優香さん(宮田北小学校6年生)</li> <li>6. 「私の将来の夢」 梶原実鈴さん(若宮小学校6年生)</li> <li>7. 「ピアノが教えてくれたこと」 島田舞紀さん(若宮西小学校6年生)</li> <li>8. 「仲間と共に」 松川麻裕さん(吉川小学校6年生)</li> <li>9. 「大切なもの」 石岡真慶さん(宮田小学校6年生)</li> </ul>		
 7	 8	 9	 10	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生優秀賞受賞</li> <li>10. 「守るべき人権」 清水ひかりさん(若宮中学校3年生)</li> <li>11. 「かけがえない命」 米安麻美さん(宮田光陵中学校2年生)</li> <li>12. 「いじめというものは」 長谷川 歩さん(宮田中学校2年生)</li> <li>13. 「大切なことは「知ること」」 神谷侑紀さん(宮田西中学校3年生)</li> </ul>		 11	 12	 13

**血液が足りません  
献血へのご協力をお願いします**

本庁情報公開室で献血を行います。  
秋から冬にかけて特に血液が不足しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

	男性	女性
年齢	17歳から69歳まで	18歳から69歳まで
体重	50キログラム以上	
最高血圧	90 mmHg 以上	
回数	年間3回以内	年間2回以内

※ 献血可能な年齢は、65歳から69歳の方は、60歳から64歳までに献血の経験がある人に限ります。この他にも、血液の比重などのチェックがあります。

- **とき** 12月14日(金)、午前9時30分から11時30分まで、午後0時30分から3時30分まで
- **ところ** 本庁情報公開室
- **主催** 宮若市献血推進協議会
- **協賛** 宮若ライオンズクラブ
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

※「今月の健康」の記事については保健センターパレットまで ☎55・6000

**健康診断を行います  
【特定健診・がん検診】**



本年度の健診も残り2回となりました。まだ済んでいない人は、これを機会にぜひ受診しましょう。

- **1月の健診** ▷とき=平成24年1月22日(金)、23日(土)▷申込期間=12月5日(金)から9日(土)まで▷ところ=マリーホール宮田
- **2月の健診** ▷とき=2月14日(金)、15日(土)▷申込期間=12月19日(金)から22日(金)まで▷ところ=保健センターパレット
- **申込み・問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

種類	対象者	検診料
特定健診	40歳から74歳までの 宮若市国民健康保険加入者	500円
健康診断	18歳から39歳までの人、 40歳以上で医療保険未加入者	500円 生活保護受給者は 無料です
肝炎ウイルス検査	40歳以上の人	700円
胃がん検診		500円
大腸がん検診	18歳以上の人	300円
肺がん検診		100円
子宮がん検診	18歳以上の女性	400円
乳がん検診	視触診	18歳以上の女性 100円
	マンモグラフィ	40歳以上の女性 マンモグラフィを希望する人は 視触診も合わせて受診します 400円
		生活保護受給者、 非課税世帯、 70歳以上は 無料です

**ひきこもり問題の理解と  
支援のあり方を考えます**

福岡 ひきこもり講演 検索

ひきこもり状態は、必ずしも病的な状態を表すわけではなく、健康な成人でも気分の波や、ちょっとした出来事でひきこもることがあります。この講演を機会に考えてみませんか。

- **とき** 12月15日(土)、午後2時から4時まで(受け付けは1時30分から)
- **ところ** 福岡県飯塚総合庁舎大会議室
- **対象** 16歳以上で社会的ひきこもりに困っている人や、関心のある人
- **講師** 田中美穂さん(北九州市地域ひきこもり支援センター長)
- **テーマ** 「ひきこもりの若者どう向き合う？」
- ※ 社会的ひきこもりとは、6カ月以上社会参加していない。精神科の病気や発達障害はない。そして、外出していても対人関係がないことなどといった状態を指します。
- **参加費** 無料
- **申込方法** 12月5日(金)まで電話にてお申し込みください。
- **申込み・問い合わせ** 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課精神保健係 ☎0948・21・4875

運動を始めたい人、運動する機会を増やしたい人は参加しませんか

**ここに運動教室** 【みやわか健康ポイント事業対象】

宮若 ここに運動 検索

ストレッチや簡単なエアロビクスなどを取り入れながら楽しく体を動かす教室です。現在、幅広い年齢で男女あわせて40人ほどが参加し、皆さん楽しく運動しています。

仲間づくりに、運動不足の解消や気分転換にぜひ参加してみませんか。

月	日	
12月	15日(土)	
平成24年1月	5日(土)	19日(土)
2月	2日(土)	16日(土)
3月	1日(土)	15日(土)

- **時間** 午後1時から2時まで(予約は必要ありません)
- **対象** 市内に住んでいる20歳以上の人
- **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

**10月1日から応募受付が始まっています。みやわか健康ポイント事業**

**3つの項目をクリアして健康と記念品をもらおう**

皆さんの健康づくりを応援する事業として始まった「みやわか健康ポイント事業」。健康づくりに関する事業へ参加して、ポイントを集めて、ご応募いただいた人には、もれなく記念品をプレゼントします。さらに、抽選で10人に豪華記念品が当たります。

- **対象者** 18歳以上で市内に住んでいる人
- **記念品応募までの流れ** 3つのステップ全てが達成できたら、応募はがきに必要な事項を記入し、切手をはって郵送または、本庁や若宮コミュニティセンター「ハートフル」、保健センターパレットなどに設置している回収箱に投函してください。
- ※ 応募いただいた記念品は3月末ごろに自宅に郵送します。

● **応募締切** 平成24年2月29日(金)まで(当日消印有効)  
※ 応募はがきは5月広報と同便で配布したチラシについています。チラシは本庁や若宮コミュニティセンター「ハートフル」、保健センターパレットに設置しています。

● **問い合わせ** 保健センターパレット ☎55・6000

事業についてわからないことがありましたお問い合わせください。



人生って、なに？

オスカー・ブルニフィエ 文、朝日出版社



子どもにもわかりやすく書かれた哲学の本ですが、大人でも「ハッ」とさせられる言葉が満載です。自分の生き方や将来を見直しませんか？

DREAMS おとなになったら、なんになりたい？

大脇 崇 著、サンクチュアリ出版



世界中の子どもたちの夢と笑顔がいっぱいのこの本。あなたの子どもの頃の夢は何でしたか？懐かしくもほほ笑ましい1冊です。

50歳からの食べてやせるダイエット

美波紀子 著、海竜社



女性の永遠のテーマ、ダイエット。理想のスタイルへの思いは不変です！著者の経験をもとに50代だからこそその方法を学べる1冊。

# New Books Coming up

3月11日に発生しました東日本大震災によって私たちの生活意識は大きく変化したのではないのでしょうか。今、私たちは大きな希望と共に未来に向けて力を合わせています。また、巻頭でも紹介しました秋貞姉妹の挑戦も夢をあきらめないことを改めて伝えてくれます。今月は「夢・希望・思い」をテーマに本を紹介いたします。

やっぱり医者になりたい君たちへ

和田秀樹 著、PHP研究所



受験前の必勝合格マニュアルから医学部生生活、仕事に就くまでのプロセスを紹介。厳しい勉強や社会問題にも触れた充実の内容です。

理系なお姉さんは苦手ですか？

内田 麻理香 著、技術評論社



本書では10人の理系なお姉さんが、夢のかなえ方や仕事のだご味、実際の理系女子の実情などを語ってくれます。

世界一のトイレ ウォッシュレット開発物語

林 良祐 著、朝日新聞出版



ハイテク機能を備えた日本製トイレは外国でも大人気。開発者の思いが実を結ぶまでの奮闘記です。

スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン

カーマイン・ガロ 著、日経BP社



なぜスティーブ・ジョブズのプレゼンは、あれほど聴衆を魅了したのか？聴衆を引きつけるプレゼンのスキルが満載の1冊です。

三銃士

藤本ひとみ 文、A・デュマ 著、講談社



固い友情で結ばれたダルタニャンと三銃士が、枢機卿の陰謀に立ち向かう！恋と友情に命をかける冒険物語にもう一度会いませんか。

消防官になるには

菅原順臣 著、ペリカン社



あなたは将来、何になりたいですか？この本には消防官になるために必要な情報が盛りだくさんです。他の職業の本もあります。

前向き。

93歳、現役。明晰に暮らす吉沢久子の生活術 吉沢久子 著、マガジンハウス



老後も輝いて暮らしたい。多くの人の願いではないでしょうか。ポジティブに生きる吉沢さんの生活術が書かれた1冊です。

●12月の休館日 5日～12日(蔵書整理)、19日、26日、29日～31日

図書資料の寄贈のお願い



## 家に眠っている本や郷土資料を 図書館に寄贈しませんか

開館に向けて着実に準備が進む図書館を核とする生涯学習拠点施設。特に必要としている資料の寄贈をお願いします。

書室では、平成24年の春に開館を予定している図書館を核とする生涯学習拠点施設の資料の収集に力を入れています。図書館には新しい資料はもちろん、宮若市のことや県内、近隣の市町村などの地域情報などが掲載されている本、郷土資料と呼ばれる資料が必要です。これらの資料を図書館としては収集、保存をしていかなければいけないと考えています。しかし、これらの資料は図書館に必要ではあっても、古い資料が多いということもあり、書店では手に入らないものも多くあるのが現状です。そこで、皆さんご協力を

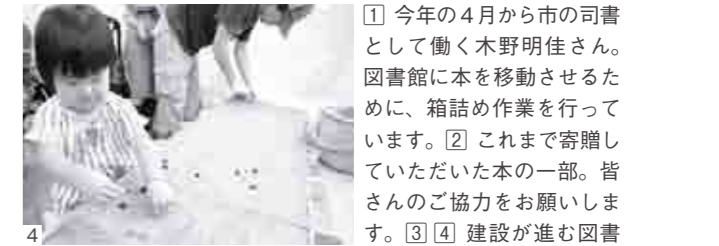
お願いしたいと思っております。次に紹介する資料が自宅に眠っている人、もう使わないからどうしようかと考えている人は図書館への寄贈をお願いします。

●寄贈できるもの ▼郷土資料  
 宮若市や近隣の市、福岡県について書かれた郷土資料や行政資料。宮若市に關係のある学校史、社史など  
 ▼図書  
 実用書は出版年から五年以内、文芸書は状態の良い物のみを受け取ります。  
 壊れや日焼けや汚れ、書き込みがあるものは、お受けできません。

また、次の物は図書館では受け取りができません。よろしくお願ひします。

●寄贈できないもの  
 百科事典、全集、古い雑誌、アダルト誌、その他図書館にふさわしくないと判断される資料、DVD、ビデオ  
 ※資料の収集にご協力いただける場合は、宮若市中央公民館までお問い合わせください。ご厚意に沿えない場合もあります。あらかじめご了承ください。寄贈して頂いた資料はその取り扱いを本庁図書館・文化振興係に託していただきますようお願いいたします。

●問い合わせ 図書館・文化振興係 ☎32・0123



① 今年の4月から市の司書として働く木野明佳さん。図書館に本を移動させるために、箱詰め作業を行っています。② これまで寄贈していただいた本の一部。皆さんご協力をお願いします。③④ 建設が進む図書館。8月21日に作った日干しレンガの部屋も完成しています。オープンしたらどこに自分のレンガがあるか探してみてください。

## Christmas meeting



### お話したくさんのクリスマス会

これまで中央公民館で行っていたクリスマス会。昨年、たくさんのお友だちが来てくれて楽しい時間を過ごしました。そんなクリスマス会を今年は若宮コミュニティセンター「ハートフル」で行います。

楽しいおはなしをたくさん用意して皆さんをお待ちしています。ぜひ、ご参加ください。

- とき 12月17日(日)、午後2時から
- ところ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 問い合わせ 本庁図書館・文化振興係 ☎32・0123



# RS 社会科見学がヒントに

## 篠原さくらさん、秋季防火ポスター最優秀賞を受賞



篠原さんは直轄広域消防本部に社会科見学に行ったのがヒントとなって消防士の絵を描いたとのこと。堀悦雄消防長は「かわいい消防士が火災の原因をわかりやすく訴えており、火災予防にふさわしい作品」と、講評しました。

秋の火災予防週間の初日となる11月9日、吉川小学校で秋季防火ポスター最優秀賞の表彰式が行われました。直轄広域消防本部が管内の四年生を対象に防火ポスターを募集し、啓発を行っているもの。四百二十一点の作品から最優秀の一点に選ばれたのが篠原さくらさんが描いたポスター。

「選ばれると思っていなかったのですが、早くおじいちゃんに伝えたいです」と喜びを語ってくれました。

# RS 笑って、汗かいて、元気になって

## 日吉区自治会、第1回スポーツフェスタ

雨天のため、室内での開催となったスポーツフェスタ。しかし会場内は、熱気に包まれていました。スポーツを通して皆さんとの交流を深めることができた1日となりました。



雨のため、室内での開催となったスポーツフェスタ。しかし会場内は、熱気に包まれていました。スポーツを通して皆さんとの交流を深めることができた1日となりました。

10月30日、旧若宮南小学校体育館で日吉区自治会の第1回スポーツフェスタが行われました。これまで小学校の運動会と一緒にしてきた取り組みを続けていくために、新しく開催したもので日吉自治会の新しいイベントとして今後も行っていく予定です。どの地域にも負けないつながりを持つ日吉の皆さん。この日は幼児から大人まで和やかな雰囲気の中、スポーツを楽しみました。

# RS 炎の祭りに新しい交流が始まる

## 炎の祭り、長井鶴オータムフェスティバル



地域の皆さんに焼きそばを振る舞うトヨタ九州の皆さん。スポーツフェスタの参加に引き続き、住民の皆さんとの交流を深めています。

地元食料を使った食事会など、参加した百十人の皆さんは生活に役立つ、おなかもいっぱいになった1日となりました。

11月6日、長井鶴公民館恒例の炎の祭り、オータムフェスティバルが行われました。今回はトヨタ自動車九州株式会社の寮である「パル宮田」に住んでいる皆さんから参加のお話があり、祭り初めの参加となりました。消防団による消火実演や



### ご連絡お待ちしております

コミュニティ活動を広めたいという人でこのコーナーへ記事を掲載したい人は、本庁秘書広報係(☎32・0511)までご連絡ください。

市内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがリーダーズスタイル(あなたの生活)です。

# RS 追い出し猫と出会うまちへリニューアル、福丸商店街ににぎわいを

## 追い出し猫横丁、オープニングイベント



来賓の皆さんと一緒に追い出し猫さくらちゃんもテープカット。



来年の4月8日に6回目の定期公演を行う宮若レインボーカンパニー。今回は追い出し猫を題材にしていることから、「ハートフル」でその一部を披露してくれました。



この日は顔を猫にイントした皆さんが商店街を歩き交います。記念撮影のかけ声はもちろん「にゃ〜」?!



雨にも負けず、1,000人を超える皆さんが駆け付けました。屋から小雨となるとお客さんも増加。受付窓口には行列が…。



商工会の2階に設置した絵付け会場は子ども達で大賑わいでした。世界に1つだけのオリジナル追い出し猫を作ろうと皆さん真剣です。

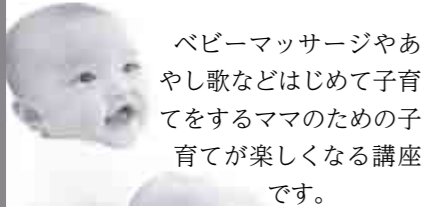
11月6日、あいにくの雨の中となりましたが、福丸商店街で追い出し猫横丁オープニングイベントが行われました。福丸商店街をまた活気ある姿に戻そうと昨年、「福丸商店街活性化がんばろう会」を発足。追い出し猫に注目して、モニメントや店舗のシャッターに大きなシールを貼るなど、通りを猫一色にリニューアルしました。オープニングイベント当日は歩行者天国とし、猫の写真コンテストや顔に猫の化粧を行う体験コーナーの設置、また劇団宮若レインボーカンパニーによるミュージカルも披露し、千人を超える皆さんでにぎわいました。がんばろう会の会長、塩川孝司さんは、「あいにくの雨となりましたが、このイベントをきっかけに商店街が活気あふれる通りになることを願っています」と話してくれました。「追い出し猫に出会う商店街へ」。がんばろう会の皆さんの挑戦が始まろうとしています。



追い出し猫さくらちゃんもたくさんのお客さんをおもてなしするなど、大忙し。

講座  
Lecture information

子育てが楽しくなる講座  
「はじめのはじめの いっぱい」



- **とき** 平成24年2月20日(木)から3月26日(木)までの毎週月曜日、午前10時から正午まで
- **ところ** 若宮コミュニティーセンター「ハートフル」
- **対象** 市内に住んでいる人で第1子が生後2カ月から4カ月の乳児と母親で可能な限り全6回の講座に参加できる人
- **定員** 12組(応募多数の場合抽選)
- **参加費** 無料
- **申込期間** 1月16日(木)から30日(木)まで
- **申込み・問い合わせ** 本庁児童母子福祉係 ☎32・0517

その他  
Others information

下水道事業計画変更案の  
縦覧を行います

- **縦覧期間** 12月1日(木)から14日(木)まで、午後8時30分から午後5時15分まで(土、日曜日を除きます)
- **ところ** 本庁下水道課管理係  
※ 宮田都市計画下水道事業の都市計画変更案について意見のある人は、12月14日の縦覧期間満了までに、県知事宛に意見書を提出することができます。(意見書の様式は本庁下水道課管理係に準備しています)
- **提出した意見書は、都市計画の案を審議する福岡県都市計画審議会に提出することになります。**
- **問い合わせ** 本庁下水道課管理係 ☎32・3159

シベリア戦後強制抑留者に  
特別給付金を支給します

- **請求締切** 平成24年3月31日まで  
※ 請求書を持っていない人は、当基金から請求書類を送付します。すでに支給された人は、請求はできません。
- **問い合わせ** 独立行政法人平和祈念事業特別基金事業部特別給付金担当 ☎0570・059・204

治安維持にける熱意を新たに  
福岡県警年頭視閲

福岡 年頭視閲 検索



- **とき** 平成24年1月6日(金)、午前10時から正午まで(9時20分に開場)
- **ところ** 雁の巣レクリエーションセンター駐車場(福岡市)
- **内容** ▷年頭視閲=警察部隊分列行進、車両行進▷ふれあい広場=白バイやパトカーの体験乗車  
※ 当日は自由に入場できます。
- **問い合わせ** 福岡県警察本部教養課 ☎092・641・4141

認知症でわからないことは  
本庁老人福祉係へ

- **問い合わせ** 本庁老人福祉係 ☎32・0515、地域包括支援センター ☎33・3456

冬ほたる祭を行っています



- **問い合わせ** 宮若商工会議所 ☎32・1200

林業の仕事をしていた人へ  
林業退職金共済制度

林退共 林業共済 検索

- **問い合わせ** 林退共福岡県支部 ☎092・712・2171

水道課職員を装った  
訪問詐欺が発生しています

- **問い合わせ** 本庁水道課業務係 ☎32・1005、宮若警部交番 ☎33・2742

第九inみやわか、  
入場整理券の配布を始めます



- **とき** 12月24日(土)、午後1時30分開場、2時開演
- **ところ** マリーホール宮田
- **整理券配布場所** 市役所本庁、若宮コミュニティーセンター「ハートフル」、中央公民館
- **問い合わせ** 第九inみやわか実行委員会事務局 ☎090・7929・2527

雇用者も労働者も必ずチェック  
最低賃金

福岡 最低賃金 検索

- **最低賃金** 695円(1時間)  
※ 昨年に比べ3円上昇しています。
- **問い合わせ** 福岡労働局労働基準部賃金課 ☎092・411・4578

環境基本計画の策定に係る  
市民アンケートの締切延長

- **回答締切** 12月8日(木)まで
- **問い合わせ** 本庁環境対策係 ☎32・0516

あの人の力作を見に来ませんか  
笠松なびき展



- **とき** 12月3日(土)・4日(日)、午前9時から
- **ところ** 笠松研修センター
- **主な内容** 日本画、油絵、水墨画、写真、折り紙、陶芸、パッチワーク、生け花など
- **問い合わせ** 笠松研修センター ☎32・5020

もしものときを想定して。宮若市消防総合訓練を行いました



屋上へ避難したことも想定し、はしご車も出動。本格的な訓練となりました。

- **問い合わせ** 本庁防災安全係 ☎32・0511
- 11月4日に本庁舎にて、市となって初めてとなる消防総合訓練を行いました。庁舎2階の給湯室から出火したという想定から、初期消火活動や避難誘導、要援護者の確認、消防署への通報など対応する職員の役割を確認しながら行いました。また同時に、消防隊員の指導のもと、消火器を使った初期消火訓練やAEDを使った救命講習も行いました。市では今後もさまざまな災害を想定して防災訓練を行っていきます。

1月 保健行事カレンダー

- **5日(木)** : にこにこ運動教室  
午後1時~2時  
保健センターパレット
- **10日(火)** : 4カ月児健診  
受付は午後1時~1時10分  
: 12カ月児健診  
受付は午後1時15分~25分  
保健センターパレット
- **11日(水)** : すくすく相談  
受付は午前10時~11時  
保健センターパレット
- **17日(火)** : 7カ月児健診  
受付は午後1時~1時10分  
: 12カ月児健診  
受付は午後1時15分~25分  
保健センターパレット
- **18日(水)** : ベビーマッサージ教室(要予約)  
①=午前10時~10時50分  
②=午前11時~11時50分  
保健センターパレット
- **19日(木)** : にこにこ運動教室  
午後1時~2時  
保健センターパレット
- **22日(日)** : 総合健診(要予約)  
受付は午前9時~10時30分  
マリーホール宮田
- **23日(月)** : 総合健診(要予約)  
受付は午前9時~10時30分  
マリーホール宮田
- **24日(火)** : 1歳6カ月児健診  
: 3歳児健診  
受付は午後1時~1時10分  
保健センターパレット
- **25日(水)** : 親子遊び教室(要予約)  
午前10時30分~正午  
保健センターパレット
- **31日(火)** : 離乳食教室(後期・要予約)  
午前10時~11時30分  
保健センターパレット

妊娠がわかったら  
母子手帳の申請を

医療機関で発行する妊娠届出書を保健センターパレットまで持ってきてください。母子手帳を交付します。

**納期**  
tax・premium information

**今月の納期【12月】**

- 固定資産税 第3期
- 国民健康保険税 第9期
- 後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第6期
- 納期限 12月26日(日)
- 口座振替日 12月22日(金)

納期限内に納付しない場合は督促状を発送します。その後の納付には100円の手数料が別途必要となります。また、納期限の翌日から期間に応じ、延滞金が発生します。(最初の1カ月は年利4.3%、以降14.6%)

- 問い合わせ 本庁収納・滞納対策係 ☎32・1008

**事業を営んでいる皆さんへ  
償却資産の申告をお忘れなく**

事業などを営んでいる人の事業用資産(償却資産)は固定資産税の対象となります。資産内容の変更有無に係らず、平成24年1月1日時点の資産内容を申告する必要があります。(事業などを廃止した場合も必要です)

対象者には申告書を送付します。必要事項を記入の上、1月31日までにお願いします。12月下旬までに申告書の届かない場合はご連絡ください。

- 問い合わせ 本庁資産税係 ☎32・0513

**滅失家屋の届け出が必要です**

固定資産税の賦課期日は毎年1月1日です。平成23年中に家屋を取り壊した人は届け出が必要です。

ただし、年内に法務局で滅失登記を行った人は必要ありません。

- 問い合わせ 本庁資産税係 ☎32・0513

**相談**  
consult information

**行政書士による無料相談会**

「住民の暮らしと財産」をテーマに各種相談に応じます。

- とき 12月25日(日)、午後1時から4時まで
- ところ 中央公民館第1会議室
- 問い合わせ アソシエイツ宮若 主宰華村公一事務所 ☎42・3955

**弁護士による無料法律相談**

日常生活での法律に関する問題を相談してみませんか。

- とき 12月13日(日)、午後1時から4時まで
- ところ 社会福祉協議会
- ※ 予約が必要です。12月6日までに相談内容を添えて申し込んでください。
- 問い合わせ 宮若市社会福祉協議会 ☎32・0335

**お父さん、お母さん  
1人で悩まないで**

子育ての中で不安に思うこと、悩みごとについて、1人で悩まないで話してみませんか。主任児童委員や保健師、家庭児童相談員が相談を受け付けます。秘密は厳守します。

- 相談日 12月7日(金)、平成24年1月11日(金)、2月1日(金)、3月7日(金)、午前10時から正午まで
- ところ 保健センター「パレット」
- 問い合わせ 保健センター「パレット」 ☎55・6000

**募集**  
invite information

**こだまこども合唱団、団員募集**

歌を通してたくさんの人とふれあい、ハーモニーを作り上げることの楽しさを体験します。

- 対象 5歳から18歳まで
- 練習日 毎週土曜日、午前10時から正午まで
- ところ 中央公民館若宮分館
- ※ ピアノ、ベースパーカッションなどの演奏者も募集しています。
- 問い合わせ 加護ひかり ☎52・0313

**リフィニッシャー養成講座  
受講者募集**

福岡 新生活産業就職 検索

リフィニッシャーとは洋服やバッグなどを新品同様に修復する技術者のことです。現在求職中で、クリーニング業などに就職を希望する人の参加をお待ちしています。

- とき 12月7日(金)から21日(金)までのうち7日間
- ところ ブックローン福岡ビル
- 定員 10人程度
- 申込方法 ホームページや電話などで手続きをお願いします。
- 費用 テキスト代として6,270円
- 申込締切 12月7日(金)まで
- 申込み・問い合わせ 県新生活産業就職支援事業事務局 ☎092・477・9082

**子犬のしつけ方教室  
参加者募集**



ペットスケッチコンクールで県知事賞を受賞した片平菜々花さんの作品(宮田小学校4年生)

犬との関係で悩んでいる人や犬のことをもっと知りたい人、これから犬を飼おうと思っている人のための教室を行います。

- とき 12月14日(日)、午後1時30分から午後4時まで
- ところ 直方分庁舎(直方総合庁舎)
- 主な内容 ▷優良家庭犬による実演(オスワリ、フセ、マテ、オイデなど)▷開業獣医師による何でも健康相談
- 申込方法 事前に電話でお申込みください。
- 定員 30人程度(定員になり次第締め切ります)
- 申込み・問い合わせ 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 ☎0948・21・4973

**福岡県農業大学校  
研修生募集**

福岡県農業大学校 検索

県内で就農を希望する人や就農して間もない人、品目転換を志す人を対象に、技術習得研修を行います。

- 募集科 研修科(野菜、花き)
- 定員 10人程度
- 研修期間 平成24年4月から6カ月以上1年以内
- 申込期間 平成24年1月4日(金)から2月10日(金)まで
- 面接試験日 2月24日(金)
- 問い合わせ 福岡県農業大学校 ☎092・925・9129

**楽しさ丸ごと冬体験 in 北海道  
参加者募集**

冬の北海道の厳しい自然の中で、全国から集まる友達と交流体験をします。

- とき 12月25日(日)から31日(土)まで
- ところ 北海道一周
- 対象者 小学2年生から6年生までの20人(先着順)
- 参加費 140,000円(福岡空港から)
- 申込締切 12月9日(金)まで
- 申込み・問い合わせ 国際青少年研修協会 ☎03・6459・4661

**試験**  
examination information

**平和を仕事にする  
自衛隊高等工科学校**

自衛隊 高等工科 検索

高機能化・システム化された装備品を運用するとともに、国際社会に対応できる自衛官を養成する学校です。

- 資格 15歳以上17歳未満(平成24年4月1日現在)
- 募集人数 260人
- 申込締切 平成24年1月6日(金)まで
- 試験日 1月14日(日)
- 問い合わせ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎0948・22・484

**NUMBER INFORMATION** 数字で見る宮若市

● 10月31日が基準日

**事故・犯罪** 飲酒運転撲滅

福岡県警 検索		
交通事故	件数	1月からの累計
件数	18件	168件
死者	0人	0人
窃盗犯罪内容		
窃盗犯罪内容	件数	1月からの累計
車上ねらい	4件	28件
部品ねらい	1件	10件
乗り物盗	3件	31件
自販機ねらい	0件	6件
空き巣など	3件	32件

**火災** 住宅火災警報器設置しましたか?

火災種類	件数	1月からの累計
建物火災	0件	3件
その他火災	1件	5件
死者	0人	0人

**ごみ** 第2、第4日曜日は資源回収の日です

種類	重さ
ごみの量	685,740 キロ
資源回収量	6,306 キロ
1人当たりのごみの量	22.6 キロ

※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので1人が1カ月に出すごみの量を24.3キロ以内にしようとするものです。

**人の動き**

人口	2人 減りました	30,280人
男性	1人 減りました	14,270人
女性	1人 減りました	16,010人
世帯数	19世帯 増えました	12,974世帯
~14歳	12.5%	3,783人
15歳~64歳	59.7%	18,067人
65歳~	27.8%	8,430人
出生	20人	転入 67人
死亡	40人	転出 47人

**トヨタ九州が贈るクリスマス  
「Sweet Harmony Christmas 2011」** ● 申込み・問い合わせ トヨタ自動車九州PR館 ☎34・2598



会場では、軽食コーナーを設置しています。お気軽にご利用ください。

スタッフによる恒例のハンドベル演奏では、素敵なクリスマスソングをお贈りします。子どもから大人まで楽しめる内容盛りだくさんのイベントにご家族やご友人を誘って足を運んでみませんか。

- とき 12月23日(日)、正午から午後8時まで(雨天決行)
- ところ トヨタ自動車九州株式会社ウイング21PR館
- 内容 ▷工場見学会(75分) = 全6回、各回45人 ▷モノづくり体験会(45分) = フェルトミニツリーづくりは全3回、各回100人 ▷ハンドベル演奏▷地元特産品の販売▷軽食コーナー
- 参加費 無料
- 予約 工場見学会とモノづくり体験会は事前の予約が必要です。12月16日(金)曜日までに電話でお申し込みください。

**創** 立20周年を迎えたトヨタ自動車九州が、冬のイベント「スイートハーモニークリスマス2011」を行います。クリスマスにちなんだモノづくり体験会や、一般公開していない塗装工場もご覧いただける工場見学会を予定しています。さらに、PR館

『1/11 じゅういちぶんのいち』の作者に聞く

# 中村尚儔

【なかむらたかとし】

『1/11 じゅういちぶんのいち』という漫画をご存じですか。作者、中村尚儔さんは宮若で生まれ育ち、そしてこのまちで漫画を描いています。

地方出身の漫画家の多くが都市部に出て活動している中、中村さんがふる里にこだわって描き続けるにはどのような理由があるのでしょうか。

「希望に添えるものができるかわかりませんが、描かせていただきます。使えそうになかったら捨ててもらっても構いませんから」。

今月の広報みやわか

「宮若生活」の表紙をお願いしたとき、忙しい中にも関わらず、快諾していただき完成した作品。広報紙ただけの一枚です。この絵を描いてくれたのは漫画家の中村尚儔さん、27歳。

表紙の絵から想像がつくように、サッカーを題材にした青少年向けの漫画、『1/11 じゅういちぶんのいち』を描いている作者です。「意外に思われるかもしれませんが、学生時代にサッカー部に所属していたわけではありません。中学校のときは陸上部で短距離を走っていました。運動神経も特別良いわけでもありません。

ただ、小学生のときからいつも絵は描いていました。自分がよく描いていたのが鳥山明さんの代表作、ドラゴンボール。主人公の孫悟空はほんとたくさん、模写しましたね。高校、大学へと進学し文学部を専攻。教職の単位も取得していたことから、教育実習に母校の若宮中学校で教壇に立ちました。そして将来を考えたとき、何を

の人生が大きく変わっていきます。サッカーで試合に勝った、負けたという展開はないのですが、一人ひとりのエピソードを通してその人物が成長していくストーリーとなっています。

どの内容にも一貫して伝えたいもの、それは頑張ったものは報われること。そして、一人ではなく、仲間と助け合うことの素晴らしさです。青臭い風聞こえるかもしれません。青臭い風聞こえるかもしれません。それがいいんです。作品づくりにも同じことがいえません。漫画家とはいえ、私一人では完成しません。アシスタントの人や印刷をする人など、多くの人に支えられて完成するのです。

サッカーが好きで安藤ソラを通して読者の皆さんが何かを感じ取ってくれたらうれしいですね。

## 変わらない、残っていくのが大切なこと

地方出身の漫画家の多くが、都市部に進出している中、中村さんがこの宮若にとどまっているのはどのような思いがあるのでしょうか。

「家族を始め、自分の仕事を理解してくれていることが大きいですね。正直、これまで宮若市のまちづくりというものに、関心をもって携わっ



広報みやわか「宮若生活」だけに書き下ろしてくれたこの作品。胸には「宮若」の文字がしっかりと入っています。

やりたいのか、改めて自分自身と対峙したとき、小さい頃からの夢でもあった漫画家への思いが強くなっていったんです。そこで福岡市にある専門学校に通い、二年間漫画家としての勉強をすることにしました。

そしてそれは、突然やってきました。「専門学校に入学して半年ぐらいだったと思います。描いた作品が出版社の人の目にとまり、集英社から出版されている月刊ジャンプに掲載していただくことになったのです。

その題材はサッカー。サッカーの漫画を描きたいという思いが強くてこの世界に入ったようなものなので、すごくうれしかったですね。私は絵を描くのは遅いですし、漫画家の中でも絵はうまくありません。その作品で評価していただいたのがストーリーの組み立てです。それは自分の持ち味でもありま

てきたわけではありません。でも、なぜここで仕事をしているかと問われて考えてみると、このまちに普通にあるものが好きで、ここに気が付かされたのです。

夏になれば家のすぐ前の川にはたくさんホタルが乱舞します。締切が近づいてくると、スタッフの皆さんが私の部屋にやってきて作品作りをサポートしてくれますが、家のすぐ近くを飛ぶホタルをみて驚いています。

そんなこの地域ではあたりまえのことが、実は貴重なものだったりすることがたくさんあるのではないかと考えるのです。何でも便利に変えていくのではなく、その地域の大切なものを残し継承していくことも大切なまちづくりではないかと思うんです。もし宮若じゃなかったら、作品づくりもうまくいかないかもしれませんね。

連載を担当させていただいているとはいえ、作品を完成させるスピードもまだまだ遅いので漫画家と名乗るにはまだまだ時間が必要ですね。

自分への厳しさも忘れてない中村さん。「締切がない仕事なんてありませんが、腰を据えてじっくりと読んでいただけると、そんな作品づくりができるように、これからもこの宮若市から挑戦していきたいですね。」



主人公の安藤ソラは自分の才能に限界を感じている高校生。サッカー女子日本代表、若宮四季との出会いから物語は始まります。

© 中村尚儔 / 集英社

一貫して伝えたいのは頑張った人は報われること。そして1人ではなく、仲間と助け合うことの素晴らしさ。青臭い風聞こえるかもしれませんが、それがいいんです。



ジャンプコミックス『1/11 じゅういちぶんのいち』は現在2巻まで発売されています。若宮コミュニティセンター「ハートフル」でも読むことができますので、ぜひ一度手にとってみませんか。

# きらびと

有限会社 グリーンハート安田花卉

安田 一平 さん



「見た目の華やかさと違って重労働が多いんですよ。花材を手際よく挿していく安田一平さん。実家の花き生産を手伝いながら、花木などを何種類も組み合わせ、ディスプレイするフラワーアレンジメント。東京で学び、そして仕事を経験した安田さんがふる里、宮若で新しい花き農業に取り組もうとしています。二十七歳のきらびとに迫ります。」

## 東京で得た経験を地域の活性化につなげたい

「多くの皆さんが見ている中でアレンジをしていくのも楽しいですね。出来上がっていくにつれて、皆さんそれぞれの感想を聞かせてくれますから。イメージ通りの作品ができました。」

ときは、何にも変えられない充実感がありますよ。」

4月にグランドオープンした若宮コミュニティセンター「ハートフル」ロビーに花を飾ろうと、市の認定業者で構成する花部会の皆さんが協力し、8月から月二回、展示しています。その花のアレンジを担当して



いるのが安田一平さんです。」

「私自身、その日どのような花材が入るのかわかりません。花き農家さんを回って始めて分かるんです。だから、移動中もそうですが、ハートフルに到着してもどのようにアレンジしようかとずっと考えています。作業を始めればあとは、自分の感覚ですね。このような公共施設では、多くの皆さんが入り入ります。誰が見ても違和感を感じないように、自然なアレンジを心掛けています。独創的な作品は、公共施設などは不向きです。自分の花展では逆にそのような作品を求められたりします。つまり、その場に調和するものを一番に考えアレンジします。」

東京農業大学で農業経営を学んだ安田さん。卒業論文では実家のダリアを使って花の鮮度を保つ研究をまとめました。

「白状すると、この大学を選んで上京したのも一度は一人暮らしをしたいということと、日本の中心に触れてみたいという考えがありました。卒業後は老舗ホテルに入っているフラワーショップに就職。四年間働きました。そこでは貴重な経験をたくさんさせていただきました。神田さんの結婚式では、華道家の假屋崎省吾さんと一緒に仕事する機会もありました。このようなことは地方では経験できません。流行の先端を肌で感じる事ができました。」



12月はクリスマスをテーマにアレンジを行うとのこと。12月1日午後1時30分頃から若宮コミュニティセンター「ハートフル」で安田さんによるフラワーアレンジメントを行います。

そして昨年12月、実家に戻りこれまでの経験を糧にアレンジや花材の収集などの仕事をこなしています。「自分が住んでいる日吉の山には手つかずの自然がたくさん残っています。ざっと見ても、素晴らしい花材がたくさんあります。それらの素材を生かしながら、自分たちがこの地域の伝統工芸を継承していかなくてはいけないと思います。そのためには、若い人たちを集めて、ここで農業をやるのが大切だと思います。」

花き農業の新しい世界を切り開いていくと言えば、少々大げさに聞こえるかもしれませんが、東京で得た経験を最大限生かして、地域の活性化にもつなげていきたいと考えています。これからは私たちの活動を発信して、一人でも多くの皆さんに花という存在を身近に感じていただけるように、アレンジを通して伝えていきたいです。」

## 安田 一平さん【やすだ いっぺい】

昭和59年7月12日生まれ、27歳。東京農業大学で農業経営を専攻。昨年の12月に帰郷し、実家の有限会社グリーンハート安田花卉でアレンジや花材の収集を行っている。著名人の冠婚葬祭を手掛けた経験を生かしてこの宮若から新しい花き農業に取り組もうとしている。

